

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-204	高等学校	国語	文学国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修の基本方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を培い、確かな国語力を育成する。 ● 我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、文化の担い手としての自覚を養う。 ● 創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合うことができる確かな文章の創作力を育成する。 ● 作品や文章に表現されたものを読み取る、確かな読解力を育成する。

2. 対照表		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
文学の扉	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 社会生活における「フィクション」の必要性を説いた『「フィクション」の力』の読解を通して、伝統的な言語文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号) ✓ 「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」を合わせ持ち虎となった『山月記』の主人公の性情について考察を深める中で、真理を求めて豊かな情操をはぐくめるようにした。(第1号) 	p. 10～p. 36
第一章		
令和・平成の小説	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 母と子の関係を描いた『鍋セット』の読解を通して、真理を求めて豊かな情操と道徳心をはぐくめるようにした。(第1号) ✓ 父と子の関係を描いた『もういいよ』の読解を通して、真理を求めて豊かな情操と道徳心をはぐくめるようにした。(第1号) 	p. 38～p. 73
昭和後期の小説	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 『ナイン』における野球団の仲間たちの心情の考察を通して、自他の敬愛と協力を重んずる精神を養えるようにした。(第3号) ✓ 父の目線から息子を描く『三月の風』の読解を通して、自他の敬愛と豊かな情操をはぐくめるようにした。(第1号・第3号) 	p. 74～p. 105
昭和初期の小説	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 社会から隔絶した岩屋に閉じ込められた山椒魚を描いた『山椒魚』の読解を通して、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにした。(第3号) ✓ 自己の真価を確認できずに苦悩する『水仙』 	p. 106～p. 149

	の登場人物の心情を読み取ることを通して、個人の価値を尊重する態度を養えるようにした。(第2号)	
大正の小説	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人間のエゴイズムや罪を見つめた『こころ』の読解を通して、道徳心を培うとともに、正義と責任、自他の敬愛の心をはぐくむことができるようにした。(第1号・第3号) 	p. 150～p. 205
詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近代以降のさまざまな詩歌に触れることで、伝統的な我が国の言語文化の理解が深まるよう配慮するとともに、生命や自然、自他の敬愛などを詠った詩歌の読解を通して、生命・自然を尊ぶ心、公共の精神をはぐくむ心が養えるようにした。(第3号・第4号・第5号) ✓ 短歌・俳句の創作を通じて、創造性を培うことができるようにした。(第2号) 	p. 206～p. 229
文学的文章の創作	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 文学的文章の創作活動を通して、創造性を培うことができるようにした。(第2号) 	p. 230～p. 245
古典と現代語訳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 『源氏物語』とそのさまざまな現代語訳を読むことを通して、伝統的な言語文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号) 	p. 246～p. 261
文学評論	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 文学評論の読解を通じて、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるようにした。(第1号) 	p. 262～p. 286
第二章		
令和・平成の小説	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 死を見つめる目をした人物との出会いと交流を描いた『ひよこの眼』を読むことで、生命を尊ぶ態度を養えるようにした。(第4号) ✓ ヤゴの羽化を観察する登場人物を描いた『はね』の読解を通して、生命・自然を尊ぶ心態度を養えるようにした。(第4号) 	p. 288～p. 325
昭和中期の小説	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安部公房の前衛的作品『赤い繭』の読解を通して、真理を求める態度を養えるようにした。(第1号) ✓ 太平洋戦争末期のフィリピンの戦いを描いた『野火』の読解を通して、戦争の悲惨さを理解し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした。(第5号) 	p. 326～p. 359
大正の小説	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 感覚を働かせて想像の世界に身を浸らせる主人公を描いた『檸檬』の読解を通して、豊かな情操と創造性を培えるようにした。(第1号・第2号) ✓ 周囲の人々によって将来の職業を決められてしまう主人公を描いた『笑われた子』の読解を通して、個人の価値を尊重して、自主及び自律の精神を養えるようにした。(第2号) 	p. 360～p. 391

明治の小説	✓ 文語で書かれた『舞姫』に触れることで、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号)	p. 392～p. 431
海外の小説	✓ 海外の小説に触れることにより、他国を尊重する態度を養うことが出来るようにした。(第5号)	p. 432～p. 453
戯曲	✓ 家族を捨てて出奔した父親が帰還する家族ドラマ『父帰る』を読むことで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養えるようにした。(第3号)	p. 454～p. 471
文学の普遍性	✓ さまざまな古典作品を読むことを通して、伝統的な言語文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号)	p. 472～p. 479
文学評論	✓ 文学評論の読解を通じて、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるようにした。(第1号)	p. 480～p. 498

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 学校教育法第51条2号「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」を踏まえ、知っておきたい国語的教養に関するコラム（「ズームアップ」「解説」）を随所に掲載した。
- 学校教育法第51条第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を踏まえ、各教材末の設問では、我が国の言語文化を多角的な視点から考察できる設問を多数用意した。

(2) コラム的要素

① 作家の略歴を知ることができるとともに、読書活動にもつなげることができる「作者解説」コーナーを設けた。

作者解説

近代文学の開拓者

夏目漱石

1868 明治
1912 大正
1926 昭和
1945 昭和(戦後)
1969 平成・令和

●一八六七(慶応)〜一九二六(大正)年
●東京都生まれ

●波乱の幼少期〜青年時代 一八六七(慶応)年、江戸牛込馬場下横町で、五男三女の末子として生まれる。本名金之助。生後すぐに里子に出され、一旦は連れ戻されたものの、一歳で再び父の友人塩原昌之助のもとへ養子に出された。二十一歳のときに夏目家に復籍。少年時代の漱石は、漢籍や小説に親しみ、一八九〇(明治三)年、現在の東京大学にあたる帝国大学英文科に入学。この頃、生涯の友となる正岡子規とも出会った。

●松山・熊本での教員時代 一八九五(明治二)年、愛媛県尋常中学校の英語教師として松山に赴任。この地で子規と再会した漱石は、「愚陀佛庵」と名づけた家で一時期、子規との共同生活を送ったが、松山での生活は一年で終わりを迎えた。翌年、熊本の第五高等学校に赴任し、中根鏡子と結婚する。

作品紹介

●『吾輩は猫である』 一九〇五(明治三十八)年
猫を語り手に、飼い主の苦沙弥一家の生活を風刺的に描く。一回限りの短編で終わる予定が、好評を博したため長編化した漱石のデビュー作。

●『文鳥』 一九〇八(明治四十一年)
文鳥を飼いだめた「私」の、しだいに世話を怠りがちになり、家人の不注意で文鳥が死んでしまいうまでを描いた小品。

●『硝子戸の中』 一九一五(明治四十八年)
脱稿後、自宅に籠もりがちだった時期に書かれた漱石最後の随筆集。身辺雑記や肉親にまつわる幼少期の思い出などが綴られている。

関連人物

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)

ギリシヤ生まれの英文学者・作家。漱石が第五高等学校に赴任する一年前まで八雲は同校で教員を務めており、漱石が京帝国大学に赴任した際の前任者も八雲だった。

関連書籍

『漱石の思い出』 夏目鏡子
漱石の妻である鏡子による回想録。鏡子の言葉で漱石の門下生や長年の知己でもあった松岡暁の筆録によって、漱石の姿を知ることができる。

② 教材の読解から発展させて、我が国の言語文化についての知識や理解を深めることができる「ズームアップ」コーナーを設けた。

ズームアップ

文学とはいかなるものぞ

文学評論のねらい

文学評論というジャンルは幅が広い。客観的に書かれた研究論文に近いもの(あるいは論文をわかりやすく書き変えたもの)から、しなやかな感性に基づいて書かれた印象批評に近いものまで、その内実は多岐にわたる。ただ、その根底に「文学とは何か」という問いがあることは共通している。

古今東西、文学作品についての批評や評論は数多く書かれてきた。日本にも、鎌倉時代に記された物語評論「無名草子」以来の伝統がある。物語が書かれ、読まれ続けるに当たって、いずれの作品も優れているのかという議論も盛んになる。個人的な主観

ズームアップ

鷗外と漱石

それぞれの留学

明治時代の幕開け 一八六八(慶応)〜明治二〇年に、王政復古の大号令が出されて鎌倉幕府から続いてきた武家政治が終わった。明治政府は近代化された新政府を作るため、「富国強兵」「殖産興業」をスローガンに先進的な西洋文明を積極的に取り入れる。「お雇い外国人」と呼ばれる西洋人指導者や技術者を政治・軍事・産業・建



岩倉使節団

③ 体系的な読解学習のために「チェックポイント」コーナーを設けて、文学的文章の読解手順を示した。

チェックポイント④

表現の仕方に注目する

道具の取扱説明書を読むときは、一般的に、「何を書いているか」だけが重要である。つまり、その道具の使い方を理解することだけが目的なのであり、その目的さえ速やかに果たせるのであれば、どのような表現で書かれていたとしても問題にはならない。

これに対し、小説を読むときは「どのように書いているか」、つまり表現の仕方に注目することが大切になってくる。小説は、作者が一定の意図のもとに表現を練り上げた、言葉の芸術だからである。取扱説明書などとは異なり、小説は読むことそれ自体が一つの目的なのだ。

「どのように書いているか」を知り、作品への理解を深めるには、次のことが重要になる。

チェックポイント③

詩歌を味わう

1 抒情
詩は叙事詩と抒情詩に分けられる。叙事詩は、神々や英雄たちの事績を詠んだ長大な詩であり、古代ギリシヤなどに見られる。一方、抒情詩は、作者の感情を凝縮された言葉で詠んだ、短い詩である。「短い」といっても程度に差はあり、わずか十七字の俳句もあれば、数百字に及ぶような詩もある。しかし小説などの他のジャンルの文章に比べると、はるかに短いといえる。日本の詩歌は基本的に抒情詩であり、この教科書に掲載している詩歌もすべて抒情詩に分類される。そこで、ここでは抒情詩について考えてみよう。

2 凝縮・興行き・広がり
詩歌は短く凝縮された言葉であるため、一字一句の持つ重みが散文の場合よりも大きい。たった一文字の違いで作品の味わいががらりと変わってしまうこともある。また、凝縮された短い詩歌には、いつ、どこで、誰が、何を、

(3) デジタルコンテンツ

① 各教材の見出し付近に掲載した二次元コードを通じて、さまざまな角度から本編教材の理解を深めることができる「学習用コンテンツ」を多数用意した。

2. 対照表

* 配当時数における丸付き数字は「A 書くこと」の時数を示す。

図書構成・内容		学習指導要領の内容						該当箇所 [頁]	配当時数
単元	教材	知識及び技能		思考力, 判断力, 表現力等					
		(1)	(2)	A 書くこと (1) (2)	B 読むこと (1) (2)				
文学の扉									
	「フィクション」の力	イ				ウ・カ	ア	10	6
	【チェックポイント1】小説とはどのようなものか	ウ	ア・イ					15	
	山月記	エ	ア			ア・イ・ウ・オ・キ	ア	16	
	【作者解説】中島敦		イ					30	
	【探究の扉】人虎伝	ウ・エ	ア			キ	ア	32	
第一章									
令和・平成の小説	鍋セット	ア	ア			ア・イ・カ	ア	38	8
	【作者解説】角田光代		イ					53	
	もういいよ		ア			イ・カ	ア	54	
	【作者解説】東直子		イ					71	
	【ズームアップ】越境する表現者・作品		ア・イ					72	
昭和後期の小説	ナイン	イ・エ	ア			イ・ウ	ア	74	8
	【作者解説】井上ひさし		イ					88	
	三月の風	エ	ア			ア・イ・エ・カ	ア	90	
	【作者解説】阿部昭		イ					102	
	【ズームアップ】大衆が支持した文学		ア・イ					104	
昭和初期の小説	山椒魚	イ	ア			ア・イ・オ・カ	ア	106	8
	【作者解説】井伏鱒二		イ					118	
	水仙	ウ・エ	ア			イ・ウ・エ・オ・キ	ア	120	
	【作者解説】太宰治		イ					138	
	【探究の扉】忠直卿行状記		ア			キ	ア	140	
	【ズームアップ】太宰治と師と変身		ア・イ					146	
	【チェックポイント2】心情を読み取る	ア						148	
大正の小説	こころ	エ	ア			ア・イ・オ・キ	ア	150	8
	【作者解説】夏目漱石		イ					194	
	【探究の扉】現代日本の開化					キ	イ・カ	196	
	【ズームアップ】漱石のマグネティズム		ア・イ					204	
詩歌	小諸なる古城のほとり	エ	ア			イ・ウ	ア	206	6
	【作者解説】島崎藤村		イ					208	
	永訣の朝	エ	ア			イ・ウ・オ・キ	ア・カ	210	
	【作者解説】宮澤賢治		イ					214	
	表札	エ	ア			ア・イ・オ	ア・カ	216	
	発車	エ	ア			イ・ウ・カ	ア	218	
	短歌		ア	ア・ウ・エ	ア			220	
	俳句		ア	ア・ウ・エ	ア			224	
	【チェックポイント3】詩歌を味わう	ア・イ・ウ・エ	ア・イ					228	
文学的文章の創作	物語のおわり	エ	ア	イ・ウ・エ	ア			230	⑩
	【作者解説】湊かなえ		イ					243	
	【言語活動の実践】連作小説の創作		ア・イ	イ・ウ・エ	イ・エ			244	
古典と現代語訳	源氏物語		ア					246	5
	与謝野晶子 訳		ア			ウ・エ・キ	ア	248	
	谷崎潤一郎 訳		ア			ウ・エ・キ	ア	250	
	角田光代 訳		ア			ウ・エ・キ	ア	252	
	紫式部(原文)		ア			ウ・エ・キ	ア	254	
	【探究の扉】窈窕源氏物語		ア			ウ・エ・キ	ア	256	
	【言語活動の実践】古典作品を書き換える		ア・イ	イ・ウ	ウ			260	
文学評論	文学のふるさと					ウ・カ	ア	262	5
	【作者解説】坂口安吾		イ					272	
	小説の読み方					ウ・カ	イ	274	
	【作者解説】平野啓一郎		イ					283	
	【ズームアップ】文学とはいかなるものぞ		ア・イ					284	
第二章									
令和・平成の小説	ひよこの眼	イ	ア			ア・イ	ア	288	8
	【作者解説】山田詠美		イ					305	
	はね	エ	ア			イ・ウ・エ	ア	306	
	【作者解説】小山田浩子		イ					323	
	【ズームアップ】日本文学は世界の文学たり得るか？		ア・イ					324	

昭和中期の小説	赤い繭	エ	ア			ア・イ・ウ・エ	ア	326	8	
	【作者解説】安部公房		イ					332		
	野火	イ・エ	ア			ア・イ・カ	ア	334		
	【作者解説】大岡昇平		イ					354		
	【ズームアップ】戦後の文学		ア・イ					356		
	【チェックポイント4】表現の仕方に注目する	ア・ウ・エ						358		
大正の小説	檸檬	エ	ア			イ・ウ・オ・カ・キ	ア	360	8	
	【作者解説】梶井基次郎		イ					372		
	【探究の扉】秘やかな楽しみ		ア			キ	ア	374		
	【探究の扉】瀬山の話		ア			キ	ア	376		
	笑われた子	エ	ア			ア・イ・エ・キ	ア・カ	380		
	【作者解説】横光利一		イ					388		
	【ズームアップ】憧れになる作家たち		ア・イ					390		
明治の小説	舞姫	エ	ア			ア・イ・ウ・オ・カ・キ	ア・カ	392	8	
	【作者解説】森鷗外		イ					426		
	【ズームアップ】鷗外と漱石それぞれの留学		ア・イ					428		
	【チェックポイント】隠れた心情まで読み取る	ア・エ	イ					430		
海外の小説	掟の門前	エ	ア			イ・エ・カ	ア	432	8	
	【作者解説】フランツ・カフカ		イ					437		
	藤野先生		ア			イ・オ・キ	ア	438		
	【作者解説】魯迅		イ					448		
	【探究の扉】『呐喊』自序					キ	ア	449		
	【ズームアップ】透明人間の〈声〉を聞く		ア・イ					452		
戯曲	父帰る	ア	ア			ア・イ・ウ・カ	ア	454	6	
	【作者解説】菊池寛		イ					468		
	【ズームアップ】演劇を支える戯曲の言葉		ア・イ					470		
文学の普遍性	恋の物語 伊勢物語		ア			イ・キ	ア・カ	472	5	
	平家物語		ア			イ・キ	ア・カ	474		
	好色一代男		ア			イ・キ	ア・カ	476		
	【ズームアップ】震える心を物語る		ア・イ					478		
文学評論	演技する「私」					ウ・カ	イ	480	5	
	読者にできる仕事					ウ・カ	イ	488		
	【ズームアップ】文学研究とは何か		ア・イ					497		
配当時数合計		A 書くこと [丸付き数字は「書くこと」の配当時数を示す]							30	
		B 読むこと							110	
		合計							140	

常用漢字以外の使用漢字一覧表

* ページは初出ページ。

見返し① 智 見返し② 頁 見返し② 敦 見返し② 鱒 見返し② 阿 見返し② 漱 見返し②
鷗 見返し② 澤 見返し② 梶 見返し② 吾 見返し② 湊 見返し② 浩 2 李 2 亮 2 訣
3 椒 3 卿 3 匙 4 檉 4 椽 4 伊 4 宏 5 掟 5 魯 5 咽 5 喊 12 撫 13 狐 15 此
15 嘘 16 隴 16 穎 16 榜 16 狷 16 恃 16 賤 16 號 16 臥 16 峭 16 炯 16 僑 17
快 17 悖 17 汝 17 袁 17 慘 17 嶺 17 於 17 陝 17 淮 17 渭 17 洛 17 徽 17 蘇
18 闊 18 峻 18 叢 18 懼 19 愧 19 赧 19 厭 19 嚙 20 肱 20 茫 20 兔 21 誦 24
蓬 24 茅 24 輶 24 嘯 24 嗥 24 嗤 24 仍 24 已 24 倖 25 倨 25 碌 25 悶 25 慙
25 恚 25 磋 25 琢 25 伍 26 濡 26 怯 26 灼 26 巖 26 吼 26 咆 26 哮 27 憐 27
杜 27 甫 27 屏 28 慟 28 哭 30 喘 30 耽 30 狼 30 譚 30 芥 30 夭 31 汪 31 之
31 歎 31 鴨 31 辿 31 綴 31 昌 31 蠅 32 焉 32 丞 32 楊 32 嘗 32 酣 32 謂 32
其 32 曰 32 乃 32 耶 32 咸 33 楚 33 矣 33 俟 33 悉 33 囊 33 橐 33 饋 33 忽
33 鞭 33 捶 33 莫 33 餞 34 而 34 篇 34 雖 34 闕 34 亦 34 也 34 歟 34 攄 35
乎 35 噫 35 冉 35 斯 35 孀 35 焚 35 爾 35 淵 35 諡 36 賻 36 柩 36 疏 38 螺
39 鏞 39 襖 40 菱 41 蕎 41 洒 42 醬 42 噌 42 庵 43 葱 44 揃 44 碗 45 橙 45
咄 45 嗟 46 饒 46 筑 46 瓜 49 飴 50 炒 51 訊 50 喧 50 嘩 53 葵 53 燕 54 溜
55 淹 55 桶 57 蘊 57 訝 58 檣 58 茹 59 茄 59 檣 61 滲 67 頷 72 叉 73 蟬 73
圭 75 濠 76 惣 76 苑 78 彦 79 騙 83 唸 89 龍 89 讚 89 遼 90 藁 90 摑 90 恰
92 只 96 蒲 96 洩 98 糞 102 鵠 104 樅 104 或 104 靖 104 薨 104 蘭 104 煌
105 帖 105 牽 106 狽 107 苔 108 黴 109 稗 109 遁 110 棍 111 瘋 111 癩 111 蛙
112 錫 113 牢 115 撻 117 寓 118 鯉 118 雁 118 隈 118 遙 118 荻 120 囁 123 玻
124 逢 124 云 124 挪 124 揄 125 蜆 125 臍 125 陋 126 耄 127 鷹 127 蒼 128 呆
128 呿 130 憫 130 淋 131 這 133 綺 135 愕 138 弘 138 嶽 138 謳 139 辻 139 哉
139 寵 139 佑 140 萩 140 玲 140 瓏 140 欣 140 饗 140 隴 141 搔 141 疖 141 汀
141 蝶 142 蹂 142 躡 142 顫 142 佩 143 媚 143 昂 143 蹲 143 聰 143 窺 143 咳
143 瀆 143 眸 143 祐 143 叩 143 槍 144 朶 144 埒 144 樊 144 噲 144 劉 145 癩
145 妾 145 祿 145 讐 148 酉 148 袂 148 嬉 150 惹 152 躊 152 躊 152 賑 152 踵
152 楓 153 撒 153 杏 153 梢 153 崗 154 鋏 157 繫 157 癩 163 腋 166 吞 166 咀
166 嚼 166 崇 168 憚 168 悄 169 彷彿 169 徨 171 陀 172 套 173 熾 173 廠 174 燈
175 懊 176 椀 177 貰 179 跨 180 曠 182 狡 182 狷 184 覩 185 詫 186 頸 186 溺

188 瀾 188 痒 188 畢 188 竟 188 燠 191 峯 191 邯 191 鄆 194 佛 194 寅 194 閒
 195 栗 195 嘉 196 蕾 196 瞥 197 俄 197 筵 199 坐 199 炳 201 揉 201 毫 202 些
 203 奄 203 呻 206 蘩 206 蕞 206 萌 206 藉 206 衾 206 霞 207 阜 208 顛 209 鑰
 209 姪 209 丑 209 翠 210 蓴 212 雫 213 兜 213 勒 213 菩 213 薩 214 蓮 214 軋
 214 轢 215 庄 215 棲 215 朔 215 吠 217 鐘 219 禱 220 迢 220 倭 222 鴟 222 鵲
 222 鴿 222 黎 222 瀧 223 堰 223 漕 223 劫 223 桂 223 臂 224 葦 225 昏 225 絲
 226 碧 226 篠 226 鳳 226 蟻 227 彎 228 抒 229 伽 231 瑛 234 癌 236 秤 237 溢
 238 堵 239 叶 243 葡 243 苟 246 桐 246 壺 249 簾 249 仇 249 几 250 馴 256 夷
 256 睨 257 筈 257 犇 261 修 263 髯 268 綾 269 孕 273 檀 274 儼 274 纂 277 雛
 277 淘 283 蝕 284 逍 285 淳 285 菟 290 嚙 293 撫 293 鞞 294 拗 301 疼 302 憑
 304 樋 310 罨 313 顰 315 庇 316 翅 319 掬 322 竿 332 藩 332 罹 332 馳 334 榴
 334 喋 334 秣 335 喀 336 藹 336 褪 336 壕 338 挽 338 蜀 338 黍 339 曝 340 歪
 340 聳 340 礫 340 腑 340 梁 340 眩 341 吊 341 痰 341 檉 341 櫟 341 蔓 343 鄙
 343 翳 343 珊 343 瑚 343 恍 343 惚 343 閃 344 芻 344 稜 344 矮 344 芒 344 哨
 345 焰 345 迂 346 瞑 346 箒 347 窪 348 萱 348 匍 349 屍 349 紐 349 摺 349 灌
 349 瀕 349 襦 349 袂 349 膊 350 蛭 350 睫 350 腔 350 辜 350 呵 351 勿 354 俘
 354 誅 354 堺 354 攘 355 晋 355 崑 355 捏 356 埴 356 麟 356 棘 359 梧 360 尖
 361 吃 361 糊 361 縞 361 鼠 362 鯛 362 魄 362 贅 362 琥 362 珀 362 翡 363 鱒
 363 壘 363 鹼 363 蝦 364 姑 364 廂 364 驟 365 鎰 365 絢 365 爛 365 弛 365 顆
 366 柑 366 烟 367 諺 368 晒 369 冴 369 埃 373 晃 376 稀 379 嵌 379 裡 380 餐
 380 柴 380 儲 381 獅 382 狗 383 荆 383 杵 383 檠 383 餉 384 舐 384 梯 385 捧
 386 鉞 387 瓢 387 篔 388 藝 389 逡 389 國 389 辰 390 繚 390 樺 391 攬 392 牌
 392 蒙 393 恙 393 蹟 393 廻 393 銷 393 掠 393 瑞 394 斐 394 鬢 394 巴 394 漲
 394 羲 395 瀝 396 凱 398 瑣 398 蔗 398 猜 398 讒 398 誣 399 赫 399 珈 399 琲
 400 冤 400 艱 400 僑 400 巷 400 髭 400 佇 400 垢 401 涸 401 歛 401 歔 402 媪
 402 慫 402 勲 402 廚 402 煉 402 竈 403 氈 403 訛 404 兀 404 駮 406 誹 406 鬢
 407 截 407 盞 407 朋 408 殂 409 蒔 409 鍤 409 坎 409 珂 409 雀 409 穿 409 庖
 410 恢 411 吻 411 踟 411 躄 411 逞 411 托 412 轆 412 軻 412 諫 412 舵 412 遙
 413 栗 415 繞 415 驕 415 奢 415 蠟 415 燭 415 鏤 417 禽 418 馭 418 徊 419 鑼
 419 襁 419 褛 420 縋 420 譬 420 榻 421 鷺 422 譖 426 鞋 427 應 428 允 434 蚤

434 燦 438 辯 438 濛 438 莽 439 舜 439 罔 439 聘 439 浙 442 纏 442 畸 446 倦
448 亥 448 芙 453 瓚 454 筍 455 笹 459 棕 461 樵 461 悴 461 倚 464 塵 466 躑
466 踉 466 駭 469 猪 469 楠 470 矜 471 輻 471 輳 473 戍 476 袴 476 疤 476 瘡
476 轟 476 釘 479 嗜 479 峙 479 茜 482 聊 484 萊 497 醞 497 酬 500 獺 501 董
501 啄 502 粥 502 裔 502 葶 503 犀 504 蟹 504 廬 504 笏 505 杳 508 硯 見返し
⑤ 鬻 見返し⑤ 袂 見返し⑥ 鉤

音訓一覧表

*ページは初出ページ。読みは現代仮名遣いに統一した。

見返し① 部 (べ) 見返し① 井 (いの) 見返し① 昭 (あきら) 見返し① 早稲 (わせ) 見返し
② 太 (だ) 見返し② 治 (おさむ) 見返し② 二 (じ) 見返し② 安 (あ) 見返し② 美 (み)
見返し② 光 (みつ) 見返し② 戸 (へ) 2 諸 (もろ) 2 吉 (よし) 2 謝 (さ) 2 晶 (あき)
3 忠 (ただ) 4 眼 (め) 4 勢 (せ) 5 秘やか (ひそやか) 5 鶴 (かく) 14 徒然 (つれづ
れ) 14 文 (ふ) 15 奨む (すすむ) 16 遺す (のこす) 16 頬 (きょう) 17 途 (みち) 17
広東 (カントン) 18 故人 (とも) 20 身体 (からだ) 20 充ちる (みちる) 20 想う (おもう)
21 還る (かえる) 22 哀しい (かなしい) 24 懐い (おもい) 24 偶 (たまたま) 24 不 (ず)
24 可 (べし) 24 爪 (さう) 24 誰 (たれ) 24 敢 (あえて) 24 為 (なる) 24 夕 (ゆうべ)
25 珠 (たま) 25 惧れる (おそれる) 26 昨夕 (ゆうべ) 26 樹 (き) 28 墮す (おとす) 31
万 (ま) 31 城 (き) 31 歎異 (たんに) 32 少 (わかし) 32 属 (しょくす) 32 不能 (あた
わず) 32 毎 (ごとに) 32 生 (われ) 32 与 (と) 32 等 (ら) 33 則 (すなわち) 33 者
(こと) 33 以 (もって) 33 干 (もとむ) 33 固 (もとより) 33 将 (まさに~す) 33 遺
(おくる) 33 実 (みたす) 33 且 (まさに~す) 33 獲 (う) 33 未 (いまだ~ず) 33 舍
(いえ) 33 逆 (げき) 33 中 (うち) 33 疾 (やまい) 33 勝 (たう) 33 是 (ここ) 33 益
(ますます) 33 何 (いくばく) 33 適 (ゆく) 34 蓋 (けだし) 34 当 (まさに~べし) 34
尽 (ことごとく) 34 為 (ために) 34 然 (しかれども) 34 即 (すなわち) 34 随 (したがう)
34 安 (いづくんぞ) 34 寝 (やむ) 34 為 (つくる) 34 道 (いう) 34 復 (また) 34 覧 (み
る) 35 者 (は) 35 若 (ごとし) 35 遇 (あう) 35 尼 (じ) 35 父 (ほ) 35 若 (もし)
35 匿 (かくす) 35 窃 (ひそかに) 35 由 (よる) 35 是 (これ) 35 縦 (はなつ) 35 為 (な
す) 35 字 (あざな) 36 看 (みる) 36 自 (より) 36 出 (いず) 36 回 (かえる) 36 詣
(いたる) 36 具 (つぶさに) 36 遂 (ついに) 38 磨る (する) 39 陽 (ひ) 41 苛立つ (い
らだつ) 41 蕎麦 (そば) 41 洒落 (しゃれ) 43 射す (さす) 46 南瓜 (かぼちゃ) 48 未だ
に (いまだに) 50 参 (しん) 51 鶏 (とり) 51 端折る (はしよる) 53 小 (さ) 53 健 (た
けし) 54 背負う (しょう) 55 浸ける (つける) 57 点ける (つける) 57 怪 (け) 59 愛
(まな) 59 剥く (むく) 71 隆 (たかし) 71 近 (こん) 71 芳 (よし) 71 邦 (くに) 71
康 (やす) 72 隆 (たか) 72 刃 (やいば) 74 谷 (や) 74 英 (ひで) 74 夫 (お) 74 貞
(さだ) 74 治 (はる) 76 小路 (こうじ) 77 懐中 (ふところ) 78 忠 (ただし) 82 会話
(やりとり) 83 気圧される (けおされる) 88 繁る (しげる) 89 吉 (き) 89 三 (さぶ) 90
好い (よい) 90 恰好 (かっこ) 91 疑り (うたぐり) 93 一と (ひと) 96 愉しむ (たのしむ)
97 真似 (まね) 104 天平 (てんぴょう) 105 輝 (てる) 110 退く (ひく) 118 満 (ま) 118
寿 (す) 118 豊 (とよ) 119 清水 (しみず) 119 郎 (お) 122 住居 (すまい) 122 兵衛 (べ
え) 123 画 (え) 124 腸 (はらわた) 127 家 (うち) 127 武蔵 (むさし) 127 露わ (あら
わ) 128 菜葉 (なっぱ) 130 山茶花 (さざんか) 130 薬缶 (やかん) 133 認める (したため
る) 133 縁 (へり) 133 傍 (そば) 138 川原 (かわら) 138 介 (すけ) 138 弘前 (ひろさ

き) 138 御 (み) 138 戯 (げ) 138 奇しくも (くしくも) 139 長 (おさ) 139 夫婦 (めおと) 140 越 (えち) 140 面 (も) 140 微か (かすか) 140 径 (みち) 140 四阿 (あずまや) 140 囚われる (とらわれる) 140 刻 (とき) 141 荒む (すさむ) 141 太夫 (たゆう) 141 秀 (ひで) 141 信濃 (しなの) 142 氣勢 (けはい) 142 公 (く) 142 真実 (ほんとう) 142 武士 (さむらい) 142 衝動 (ショック) 142 烈しい (はげしい) 143 出ずる (いずる) 143 易い (やすい) 143 凄まじい (すさまじい) 143 何人 (なんびと) 143 命中 (あたり) 144 お祖父様 (おじいさま) 147 留まる (とどまる) 147 活かす (いかす) 148 章魚 (たこ) 151 経つ (たつ) 151 室 (へや) 151 宅 (うち) 152 理由 (わけ) 153 依撒伯拉 (いさべら) 153 銀杏 (いちょう) 153 埋まる (うずまる) 153 豊 (と) 154 目的 (あて) 154 繁く (しげく) 156 交際 (つきあい) 157 幾歳 (いくつ) 158 打つかる (ぶつかる) 162 除ける (のける) 163 透る (とおる) 164 各自 (めいめい) 166 出だす (いだす) 169 不忍池 (しのばずのいけ) 169 安房 (あわ) 171 咽喉 (のど) 171 弥 (み) 172 質 (たち) 174 燈火 (あかり) 175 捕まえる (つらまえる) 176 一途 (いちず) 176 被る (かぶる) 176 煙草 (たばこ) 178 遣る (やる) 179 脱る (とる) 179 神保 (じんぼう) 181 辛い (つらい) 181 具える (そなえる) 182 詰る (なじる) 184 翌日 (あくるひ) 187 萎れる (しおれる) 190 奪る (とる) 191 渡辺 (わたなべ) 191 希 (まれ) 191 典 (すけ) 195 沙 (しゃ) 195 利 (とし) 195 升 (のぼる) 195 薄 (すすき) 195 団 (どん) 197 否 (いや) 197 高句麗 (こうくり) 197 百濟 (しらぎ) 197 新羅 (くだら) 199 括る (くくる) 200 欠伸 (あくび) 201 食客 (いそうろう) 201 他 (ひと) 202 背 (せな) 203 起つ (たつ) 203 能う (あたう) 203 賜 (たまもの) 203 踏張る (ふんばる) 204 倍 (べ) 204 能 (よし) 204 成 (しげ) 205 生 (え) 205 縁 (えにし) 207 千曲 (ちくま) 207 甲武信 (こぶし) 208 馬籠 (まごめ) 209 好 (よし) 209 和 (かず) 209 重 (しげ) 213 聖い (きよい) 213 資糧 (かて) 214 法華経 (ほけきょう) 215 明 (あき) 215 原 (わら) 218 発つ (たつ) 220 最上 (もがみ) 220 信夫 (しのぶ) 221 騒 (さい) 221 史 (ふみ) 222 外 (と) 222 明日 (あした) 222 幸 (ゆき) 223 重 (じゅうの) 225 炎ゆ (もゆ) 226 惜 (しゃく) 227 氷柱 (つらら) 227 呉れ (くれ) 231 彼方 (かなた) 231 山間 (やまあい) 234 潰える (ついえる) 241 留める (とどめる) 243 因 (いんの) 245 深 (み) 246 帝 (みかど) 247 妃 (きさき) 247 北 (ほう) 248 思す (おぼす) 248 却って (かえって) 248 迎 (ごう) 248 書 (ふみ) 249 可愛がる (かわいがる) 249 伴れる (つれる) 249 春宮 (とうぐう) 250 内裏 (うち) 250 給う (たまう) 250 術 (すべ) 250 験 (しるし) 250 暇 (いとま) 250 読書 (ふみ) 251 猛し (たけし) 251 微笑む (ほほえむ) 251 武士 (もののふ) 252 禍々しい (まがまがしい) 253 猛々しい (たけだけしい) 254 御 (おおん) 254 祖母 (おば) 254 亡す (うす) 254 皇子 (みこ) 255 彰子 (しょうし) 256 東 (あずま) 257 数多 (あまた) 257 厳めしい (いかめしい) 257 愛おしむ (いとおしむ) 257 為 (ため) 257 紛う (まごう) 258 因 (たね) 259 田辺 (たなべ) 261 御息所 (みやすんどころ) 262 可愛い (かわいい) 262 お婆さん (おばあさん) 263 空しい (むなし)

い) 264 冠者 (かじゃ) 265 可笑しい (おかしい) 269 現 (うつし) 273 墮ちる (おちる)
273 柄 (から) 273 匿う (かくまう) 275 忙しない (せわしない) 276 一 (かず) 280 拘わる
(かかわる) 283 枝 (え) 285 当麻 (たえま) 289 上手い (うまい) 290 傾げる (かしげる)
298 奴 (やつ) 304 米 (め) 305 音符 (キイノート) 306 従兄 (いとこ) 307 停める (とめ
る) 307 裸足 (はだし) 307 直 (じか) 316 球い (まるい) 323 椎 (しい) 324 細 (ささ
め) 324 雅 (まさ) 325 映 (え) 325 柳 (ゆう) 329 刷子 (はけ) 330 糸瓜 (へちま)
330 玩具 (おもちゃ) 335 禍害 (わざわい) 335 在す (います) 335 貯える (たくわえる)
336 御 (お) 336 透す (とおす) 336 破る (わる) 337 外らす (そらす) 338 隙 (いとま)
338 止む (やむ) 338 玉蜀黍 (とうもろこし) 339 棄てる (すてる) 340 場面 (シーン) 340
退く (のく) 340 充たす (みたす) 341 許 (もと) 343 浪 (なみ) 344 疎ら (まばら) 345
羊歯 (しだ) 346 狼煙 (のろし) 349 陥ちる (おちる) 350 摂る (とる) 350 責 (しゃく)
351 止める (やめる) 355 政 (まさ) 355 山羊 (やぎ) 356 雄 (ゆ) 356 三 (ぞう) 356 武
(たけ) 356 敏 (とし) 356 堀田 (ほった) 356 善 (よし) 356 衛 (え) 357 信 (のぶ)
359 居り (おり) 360 宿酔 (ふつかよい) 361 吃驚 (びっくり) 361 向日葵 (ひまわり) 361
路 (みち) 361 希う (ねがう) 361 唆る (そそる) 362 硝子 (ガラス) 362 南京 (なんきん)
362 幽か (かすか) 363 煙管 (きせる) 363 乾す (ほす) 363 御幸町 (ごこまち) 364 快速調
(アレグロ) 364 堆高い (うずたかい) 364 慈姑 (くわい) 364 店頭 (みせさき) 364 眼
(ま) 366 掌 (てのひら) 366 浸みる (しみる) 366 撲つ (うつ) 366 割 (さく) 366 如
(ごとし) 368 憶う (おもう) 369 跳る (おどる) 372 孝 (たか) 372 外 (との) 372 繁
(しげる) 372 宗 (むね) 374 遊ぶ (もてあそぶ) 374 手拭 (タオル) 374 充つ (みつ)
374 離る (さかる) 374 唯 (ただ) 375 奇し (くし) 375 企らむ (たくらむ) 376 洒落 (しゃ
れ) 377 堪らない (たまらない) 379 嵌込台 (セッティング) 380 暖簾 (のれん) 380 信楽
(しがらき) 380 賀 (か) 381 人間 (ひと) 382 高麗 (こま) 383 剃刀 (かみそり) 383 釣
瓶 (つるべ) 385 仮面 (めん) 386 下駄 (げた) 388 上海 (シャンハイ) 389 刺 (とげ)
389 章 (あき) 389 央 (お) 389 裕 (ひろ) 389 士 (お) 390 者 (しゃの) 390 実 (さね)
390 篤 (あつ) 392 徒 (いたずら) 392 骨牌 (カルタ) 392 五年 (いつとせ) 392 平生 (ひご
ろ) 392 尋常 (よのつね) 392 独逸 (ドイツ) 393 房 (へや) 393 頭 (こうべ) 393 瑞西
(スイス) 393 伊太利 (イタリア) 393 彫る (える) 393 任 (じん) 394 捻る (ひねる)
394 訓へ (おしえ) 394 太 (おお) 394 首 (はじめ) 394 歳 (とし) 394 某 (なにがし)
394 三年 (みとせ) 394 伯林 (ベルリン) 394 欧羅巴 (ヨーロッパ) 394 菩提 (ぼだい) 395
隊 (くみ) 395 維廉 (ウィルヘルム) 395 少女 (おとめ) 395 巴里 (パリ) 395 粧ひ (よそお
い) 395 土瀝青 (アスファルト) 396 普魯西 (プロシア) 397 故 (ふる) 397 仏蘭西 (フラン
ス) 397 渉る (はかどる) 397 列なる (つらなる) 398 活きる (いきる) 398 麦酒 (ビール)
398 棒 (キュー) 399 嫉む (ねたむ) 399 合歡 (ねむ) 399 触れば (ふるれば) 399 手巾 (ハ
ンケチ) 399 珈琲店 (カフェー) 400 戴く (いただく) 400 閲す (けみす) 400 媒 (なかだ

ち) 400 灯火 (ともしび) 400 猶太 (ユダヤ) 400 翁 (おきな) 400 鎖す (とざす) 400 被
る (かむる) 400 巾 (きれ) 401 側 (そば) 401 外 (よそ) 401 酷し (むごし) 401 項 (う
なじ) 402 潜る (くぐる) 402 老嫗 (おうな) 402 誰 (た) 402 悪し (あし) 402 額 (ぬ
か) 402 印す (しるす) 402 油灯 (ランプ) 402 右手 (めて) 402 左手 (ゆんで) 402 臥床
(ふしど) 403 支ふ (つかう) 403 瓶 (へい) 403 羞 (はじ) 403 微紅 (うすくれない)
403 潮す (さす) 403 女 (おみな) 403 葬 (とむらい) 403 二年 (ふたとせ) 404 辞別 (わか
れ) 404 背 (そびら) 404 終日 (ひねもす) 405 衣 (きぬ) 405 愛づる (めづる) 406 秋
(とき) 407 午餐 (ひるげ) 407 食店 (たべものみせ) 407 顕す (あらわす) 407 隙 (ひま)
407 商人 (あきうど) 407 卓 (つくえ) 407 忙しい (せわしい) 407 幾種 (いくいろ) 407 山
県 (やまがた) 408 係はる (かかわる) 408 仏得力 (フレデリック) 408 若く (しく) 409 揮
ふ (ふるう) 409 朝 (あした) 409 悪阻 (つわり) 409 束 (つか) 409 真 (まこと) 410 昨
夜 (ゆうべ) 410 疾し (とし) 410 容 (かたち) 411 幾年 (いくとせ) 411 被ふ (おおう)
411 門者 (かどもり) 411 廊 (わたどの) 411 旧 (もと) 412 生活 (なりわい) 413 玻璃 (ガ
ラス) 413 膚 (はだえ) 413 明旦 (あす) 413 魯西亜 (ロシア) 414 虚ろ (うつろ) 414 費
(ついで) 414 性 (さが) 415 任務 (つとめ) 415 工 (たくみ) 415 醒む (さむ) 415 生計
(たつき) 415 底 (そこい) 416 族 (やから) 416 他人 (ひと) 417 旦 (あした) 418 駐ま
る (とまる) 419 労う (ねぎらう) 419 訪ふ (とぶらう) 420 辞む (いなむ) 420 衝く (つ
く) 420 侍り (はべり) 420 応ふ (こたう) 420 椎 (つち) 421 戦く (おののく) 423 行
(すじ) 425 視る (みる) 425 卒かに (にわか) 426 石 (いわ) 426 見 (みの) 426 鹿
(かの) 426 興 (おき) 426 右衛門 (えもん) 426 書 (しょの) 426 頭 (かみ) 427 巨
(こ) 427 母 (も) 428 具 (とも) 428 視 (み) 428 尚 (なお) 428 博 (ひろ) 428 通
(みち) 428 嗣 (つぐ) 432 紀 (おさむ) 438 好 (よしみ) 438 清 (しん) 439 日暮里 (に
っぽり) 439 水 (み) 439 明 (みん) 439 北京 (ペキン) 453 誘う (いざなう) 453 泰 (や
す) 454 卓子台 (ちゃぶだい) 454 闇し (くらし) 455 お母さん (おたあさん) 455 私 (わ
し) 455 阿波 (あわ) 455 讃岐 (さぬき) 457 旅籠 (はたご) 458 お飯 (おまんま) 459 百
舌 (もず) 460 父親 (てておや) 462 俺 (わし) 462 呉 (くれ) 462 八歳 (やっつ) 463 女
子 (おなご) 467 台詞 (せりふ) 468 寛 (ひろし) 470 劇的 (ドラマティック) 470 葛藤 (コ
ンフリクト) 470 台辞 (せりふ) 471 小山内 (おさない) 471 土方 (ひじかた) 472 狭間 (は
ざま) 472 原 (わらの) 472 業 (なり) 473 率る (いる) 473 去ぬ (いぬ) 473 真実 (しん
じち) 474 小督 (こごう) 474 小督 (こごうの) 474 町 (まちの) 474 範 (のりの) 474 泉
(ぜいの) 474 房 (ふさの) 474 局 (つぼね) 474 仁 (にん) 474 童 (わらわ) 474 平 (た
いらの) 474 範 (のり) 475 詞 (ことば) 475 童 (とう) 475 陸奥 (みちのく) 476 和
(な) 476 髪 (か) 476 宿直 (とのい) 476 手水 (ちょうず) 476 闇がり (くらがり) 478
妹 (いも) 478 詠う (うたう) 478 松浦 (まつらの) 478 継母 (ままはは) 478 曾 (そ)
479 清 (せ) 479 良 (ら) 484 凄惨い (すごい) 484 嘲う (あざわらう) 484 解る (わかる)

484 容貌 (かおつき) 484 狂 (きちがい) 484 顛れる (あらわれる) 484 酷い (ひどい) 493
全体像 (ゲシュタルト) 500 楽 (ら) 500 気質 (かたぎ) 500 聖 (ひじり) 500 苦楚 (くるしみ)
500 然る (しかる) 500 易ふ (かう) 500 蔽冠す (おっかぶす) 501 何処 (どこ) 502
大夫 (たゆう) 503 百合 (ゆり) 503 直 (すなお) 504 飯 (いい) 506 鉄道員 (ぼっぼや)
506 仁 (ひと) 507 典 (のり) 507 洋 (ひろ) 507 則 (のり) 507 母 (おも) 508 抛る (よる)
見返し⑤ 卓袱台 (ちゃぶだい) 見返し⑥ 長押 (なげし)

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
3	道後温泉	写真						PIXTA/40431057
5	森鷗外旧宅	写真						PIXTA/55251272
9	東京大学赤門	写真						PIXTA/89184211
10	「フィクション」の力	国語教材	ベスト・エッセイ2023	180-183	日本文藝家協会 編著	光村図書出版	2023年	
11	見開きの本	挿絵						PIXTA/97890436
13	神林長平	写真						神林長平
15	夏目漱石『こころ』	写真						日本近代文学館/P0003719
16	山月記	国語教材	中島敦全集1	22-29	中島敦	筑摩書房	2001年	
17	中国参考地図	地図	The Times comprehensive Atlas of the World	22-25		Times Books	2003年	左記資料を参考にして作成
			中国歴史地図集 第五冊	44-45	中国社会科学院・譚其驤 主編	中国地図出版社	1989年	左記資料を参考にして作成
19	中島敦が叔父から贈られた虎の掛け軸	写真						神奈川近代文学館
23	中島敦自筆の中国古代地図	写真						神奈川近代文学館
24	軺	写真						CPC
27	中島敦自筆の書(杜甫「屏跡」詩の一節)	写真						神奈川近代文学館
30	中島敦	写真						日本近代文学館/P0002424
31	『文字禍』表紙	写真	山月記・李陵 他九篇	カバー	中島敦	岩波書店	1994年	
31	『光と風と夢』表紙	写真	光と風と夢・わが西遊記	カバー	中島敦	講談社	1992年	
31	『名人伝』表紙	写真	李陵・山月記・弟子・名人伝	カバー	中島敦	KADOKAWA	1968年	
31	『中島敦の遍歴』表紙	写真	中島敦の遍歴	カバー	勝又浩	筑摩書房	2004年	
31	『中島敦「山月記伝説」の真実』表紙	写真	中島敦「山月記伝説」の真実	カバー	島内景二	文藝春秋	2009年	
31	『中島敦の朝鮮と南洋』表紙	写真	中島敦の朝鮮と南洋	カバー	小谷汪之	岩波書店	2019年	
31	スティーヴンソン	写真						ユニフォトプレス/467309
31	深田久弥	写真						朝日新聞社/P161208000681
31	万城目学	写真						万城目学・鈴木陽介
32	人虎伝	国語教材	国訳漢文大成 文学部第十二巻 晋唐小説	196-199	国民文庫刊行会	国民文庫刊行会	1920年	
35	尼父	写真						国立国会図書館
37	道後温泉	写真						PIXTA/40431057
38	鍋セット	国語教材	Presents	54-70	角田光代	双葉社	2008年	
48	クラムチャウダー	写真						PIXTA/56695373
50	チリコンカン	写真						PIXTA/45628104
53	角田光代	写真						朝日新聞社/P210115000619
53	『対岸の彼女』表紙	写真	対岸の彼女	カバー	角田光代	文藝春秋	2007年	
53	開高健	写真						朝日新聞社/P171017002057
54	もういいよ	国語教材	ひとつこひとり	61-76	東直子	双葉社	2023年	
71	東直子	写真						東直子

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
71	『春原さんのリコーダー』表紙	写真	春原さんのリコーダー	カバー	東直子	筑摩書房	2019年	
71	岡井隆	写真						朝日新聞社/P17112600621
73	映画「告白」	写真						東宝
73	映画「ドライブ・マイ・カー」	写真						ビターズ・エンド
73	『小説 君の名は。』表紙	写真	小説 君の名は。	カバー	新海誠	KADOKAWA	2016年	
73	アニメ映画「君の名は。」	写真						東宝
74	ナイン	国語教材	ナイン	10-21	井上ひさし	講談社	1987年	改変については「加除訂正一覧」参照
87	ナインの守備位置	挿絵						photolibrary/6121943を改変
88	井上ひさし	写真						朝日新聞社/P110331176404
89	『吉里吉里人』表紙	写真	吉里吉里人(上)	カバー	井上ひさし	新潮社	1985年	
89	『自家製 文章読本』表紙	写真	自家製 文章読本	カバー	井上ひさし	新潮社	1987年	
89	『父と暮せば』表紙	写真	父と暮せば	カバー	井上ひさし	新潮社	2001年	
89	『坊っちゃん』表紙	写真	坊っちゃん	カバー	夏目漱石	岩波書店	1950年	
89	『文章読本』表紙	写真	文章読本	カバー	丸谷才一	中央公論新社	1995年	
89	『「井上ひさし」を読む』表紙	写真	「井上ひさし」を読む	カバー	小森陽一・成田龍一 編著	集英社	2020年	
89	斎藤茂吉	写真						国立国会図書館
89	司馬遼太郎	写真						朝日新聞社/P120312266133
89	大江健三郎	写真						朝日新聞社/P110125000559
90	三月の風	国語教材	阿部昭全作品 6	263-269	阿部昭	福武書店	1984年	改変については「加除訂正一覧」参照
102	阿部昭	写真						朝日新聞社/P170308001322
103	『司令の休暇』表紙	写真	大いなる日 司令の休暇	カバー	阿部昭	講談社	1990年	
103	『天使が見たもの』表紙	写真	天使が見たもの	カバー	阿部昭	中央公論新社	2019年	
103	『短編小説礼讃』表紙	写真	短編小説礼讃	カバー	阿部昭	岩波書店	1986年	
103	『海辺の人間 阿部昭論』表紙	写真	海辺の人間 阿部昭論	カバー	深谷考	青弓社	1991年	
103	『アマダクジ式ゴトウメイセイ【座談篇】』表紙	写真	アマダクジ式ゴトウメイセイ【座談篇】	カバー	後藤明生	つかだま書房	2017年	
103	『にんじん』表紙	写真	にんじん	カバー	ルナール著、高野優訳	新潮社	2014年	
103	チェーホフ	写真						アフロ/15494412
103	国木田独歩	写真						国立国会図書館
103	安岡章太郎	写真						時事通信フォト/0000962800
104	1964年東京オリンピック開会式	写真						朝日新聞社/P120123137520
104	松本清張(左)と司馬遼太郎(右)	写真						毎日新聞社/ P20200728dd1dd1phj895000
105	『点と線』表紙	写真	点と線	カバー	松本清張	新潮社	1971年	
105	『眼の壁』表紙	写真	眼の壁	カバー	松本清張	新潮社	1971年	
105	古井由吉	写真						毎日新聞社/ P20040812dd1dd1phj581000
105	小川国夫	写真						時事通信フォト/0000638515
106	山椒魚	国語教材	井伏鱒二全集 第一巻	3-11	井伏鱒二	筑摩書房	1964年	

出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
107	オオサンショウウオ	写真						PIXTA/57237816
109	すずめの稗草	写真						PIXTA/11969258
111	みずすまし	写真						PIXTA/1459000
112	チョッキ	挿絵						PIXTA/69671235
118	井伏鱒二	写真						朝日新聞社/P170804001058
119	『屋根の上のサウン』表紙	写真	屋根の上のサウン	カバー	井伏鱒二	KADOKAWA	1956年	
119	『ジョン万次郎漂流記』表紙	写真	さざなみ軍記・ジョン万次郎漂流記	カバー	井伏鱒二	新潮社	1986年	
119	『本日休診』表紙	写真	遙拝隊長・本日休診	カバー	井伏鱒二	新潮社	1955年	
119	『清水町先生』表紙	写真	清水町先生	カバー	小沼丹	筑摩書房	1992年	
119	『水の匂いがするようだ』表紙	写真	水の匂いがするようだ	カバー	野崎敏	集英社	2018年	
119	『井伏鱒二画集』表紙	写真	井伏鱒二画集	カバー	藤谷千恵子 編	筑摩書房	2002年	
119	谷崎精二	写真						朝日新聞社/P110528001890
119	佐藤春夫	写真						朝日新聞社/P111031004078
119	三浦哲郎	写真						朝日新聞社/P160803000651
120	水仙	国語教材	太宰治全集6	39-57	太宰治	筑摩書房	1998年	
123	ドガ	写真						メトロポリタン美術館
127	井の頭公園	写真						PIXTA/38476554
131	山茶花	写真						PIXTA/60763126
135	水仙	写真						PIXTA/59903063
138	太宰治	写真						国立国会図書館
139	『富嶽百景』表紙	写真	富嶽百景・走れメロス 他八篇	カバー	太宰治	岩波書店	1957年	
139	『女生徒』表紙	写真	女生徒	カバー	太宰治	KADOKAWA	2009年	
139	『桜桃』表紙	写真	桜桃	カバー	太宰治	角川春樹事務所	2011年	
139	『太宰治』表紙	写真	太宰治	カバー	井伏鱒二	中央公論新社	2018年	
139	『回想の太宰治』表紙	写真	回想の太宰治	カバー	津島美知子	講談社	2008年	
139	『桜桃とキリスト』表紙	写真	桜桃とキリスト 上巻	カバー	長部日出雄	小学館	2019年	
139	織田作之助	写真						日本近代文学館/P0000840
139	津島佑子	写真						朝日新聞社/P121218018204
139	又吉直樹	写真						又吉直樹・吉本興業
140	忠直卿行状記	国語教材	菊池寛全集 第二巻	217-220	菊池寛	文藝春秋	1993年	
145	菊池寛	写真						朝日新聞社/P111031003671
146	太宰の訪問を受けた頃の井伏	写真						国立国会図書館
146	中学時代の太宰	写真						日本近代文学館/P0002186
147	太宰治(左)と井伏鱒二(右)	写真						日本近代文学館/P0002218
147	太宰の結婚式	写真						日本近代文学館/P0002213
148	銀の匙	国語教材	銀の匙	62-63	中勘助	岩波書店	1999年	改変については「加除訂正一覧」参照
149	中勘助	写真						日本近代文学館/P0002396

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
150	こころ	国語教材	定本漱石全集 第九卷	10-21 242-278 294-300	夏目金之助	岩波書店	2017年	改変については「加除訂正一覧」参照
165	下宿の間取り(推定)	図	漱石研究への道	90	玉井敬之	桜風社	1988年	左記資料を参考にして作成
167	鉄瓶	写真						PIXTA/43248854
173	本郷周辺図(明治三〇年代)	地図	東京全圖(国際日本文化研究センターデータベース 地図番号:002862696)				1900年	左記資料を参考にして作成
183	『こころ』執筆当時の夏目漱石	写真						日本近代文学館/P0002504
190	乃木大将	写真						国立国会図書館
190	明治天皇の崩御を伝える新聞	写真						朝日新聞社
191	渡辺崋山	写真						田原市博物館
194	夏目漱石	写真						国立国会図書館
195	『吾輩は猫である』表紙	写真	吾輩は猫である	カバー	夏目漱石	新潮社	2003年	
195	『文鳥』表紙	写真	文鳥・夢十夜・永日小品	カバー	夏目漱石	KADOKAWA	1970年	
195	『硝子戸の中』表紙	写真	硝子戸の中	カバー	夏目漱石	新潮社	1952年	
195	『漱石の思い出』表紙	写真	漱石の思い出	カバー	夏目鏡子	文藝春秋	1994年	
195	『漱石先生ぞな、もし』表紙	写真	漱石先生ぞな、もし	カバー	半藤一利	文藝春秋	1996年	
195	『ノボさん』表紙	写真	ノボさん 上巻	カバー	伊集院静	講談社	2016年	
195	小泉八雲(ラファディオ・ハーン)	写真						国立国会図書館
195	正岡子規	写真						国立国会図書館
195	寺田寅彦	写真						国立国会図書館
196	現代日本の開化	国語教材	定本漱石全集 第十六巻	448-457	夏目金之助	岩波書店	2019年	改変については「加除訂正一覧」参照
204	あの頃の自分の事	国語教材	芥川龍之介全集 第四巻	150	芥川龍之介	岩波書店	1996年	
204	小宮豊隆	写真						朝日新聞社/P130611001028
204	安倍能成	写真						国立国会図書館
204	鈴木三重吉	写真						国立国会図書館
204	森田草平	写真						日本近代文学館/P0002978
204	岩波茂雄	写真						国立国会図書館
205	野上豊一郎(左)と弥生子(右)	写真						朝日新聞社/P110808000759
205	漱石山房	写真						神奈川近代文学館/SM414359
205	左から岡本かの子・太郎・一平	写真						日本近代文学館/P0000705
206	小諸なる古城のほとり	国語教材	藤村全集 第一巻	237	島崎藤村	筑摩書房	1966年	
208	島崎藤村	写真						日本近代文学館/P0001756
209	『破戒』表紙	写真	破戒	カバー	島崎藤村	岩波書店	2002年	
209	『藤村詩抄』表紙	写真	藤村詩抄	カバー	島崎藤村	岩波書店	1995年	
209	『夜明け前』表紙	写真	夜明け前 第一部 上	カバー	島崎藤村	新潮社	1954年	
209	『島崎藤村』表紙	写真	島崎藤村	カバー	平野謙	岩波書店	2001年	

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
209	『藤村のパリ』表紙	写真	藤村のパリ	カバー	河盛好蔵	新潮社	2000年	
209	『文学の誕生』表紙	写真	文学の誕生	カバー	大東和重	講談社	2006年	
209	北村透谷	写真						国立国会図書館
209	土井晩翠	写真						国立国会図書館
209	田山花袋	写真						国立国会図書館
210	永訣の朝	国語教材	新校本宮澤賢治全集 第二巻	138-140	宮澤賢治	筑摩書房	1995年	改変については「加除訂正一覧」参照
210	宮澤トシ	写真						林風舎
211	蓴菜	写真						photolibrary/5620694
214	宮澤賢治	写真						国立国会図書館
215	『オツベルと象』表紙	写真	宮沢賢治童話全集 新 装版(7) オツベルと象	カバー	宮澤賢治	岩崎書店	2016年	
215	『なめとこ山の熊』表紙	写真	童話集 風の又三郎 他十八篇	カバー	宮澤賢治	岩波書店	1951年	
215	「雨ニモマケズ」表紙	写真	新編 宮沢賢治詩集	カバー	宮澤賢治	新潮社	1991年	
215	『兄のトランク』表紙	写真	兄のトランク	カバー	宮沢清六	筑摩書房	1991年	
215	『宮沢賢治』表紙	写真	宮沢賢治	カバー	吉本隆明	筑摩書房	1996年	
215	『チェロと宮沢賢治』表紙	写真	チェロと宮沢賢治	カバー	横田庄一郎	岩波書店	2016年	
215	高村光太郎	写真						国立国会図書館
215	萩原朔太郎	写真						国立国会図書館
215	草野心平	写真						朝日新聞社/P121218015303
216	表札	国語教材	現代詩文庫 46 石 垣りん詩集	59	石垣りん	思潮社	1971年	
217	石垣りん	写真						朝日新聞社/P160113000385
218	発車	国語教材	現代詩文庫 169 続・吉原幸子詩集	18-19	吉原幸子	思潮社	2003年	
219	吉原幸子	写真						朝日新聞社/P101110111348
220	1 水すまし～	国語教材	斎藤茂吉全集 第三巻	568	斎藤茂吉	岩波書店	1974年	
220	2 最上川の～	国語教材	斎藤茂吉全集 第三巻	572	斎藤茂吉	岩波書店	1974年	
220	3 たびごころ～	国語教材	現代短歌全集 第五巻	345	松村英一 他	筑摩書房	2001年	
220	4 きさらぎの～	国語教材	歌集 倭をぐな(短歌 新聞社文庫)	419	釈迺空	短歌新聞社	1999年	
221	5 花が水が～	国語教材	現代短歌全集 第十二巻	23	鹿兒島寿蔵 著者代表	筑摩書房	2002年	
221	6 野の中に～	国語教材	風翩翩	130	齋藤史	不識書院	2000年	
221	7 抱くとき～	国語教材	現代短歌全集 第十三巻	189	生方たつゑ 著者代表	筑摩書房	2002年	
221	8 ホメロスを～	国語教材	岡井隆全歌集 第Ⅱ巻	121	岡井隆	思潮社	2006年	
222	9 もういいかい～	国語教材	体力	145	河野裕子	本阿弥書店	1997年	
222	10 外は晴れて～	国語教材	歩く	158	河野裕子	青磁社	2001年	
222	11 俺は帰るぞ～	国語教材	佐佐木幸綱の世界 1	178	佐佐木幸綱	河出書房新社	1998年	

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
222	12 若草は～	国語教材	佐佐木幸綱の世界 2	168	佐佐木幸綱	河出書房新社	1998年	
223	13 春浅き～	国語教材	現代短歌全集 第十七巻	261	岡部桂一郎 著者代表	筑摩書房	2002年	
223	14 喜びに～	国語教材	綺羅 栗木京子歌集	164	栗木京子	河出書房新社	1994年	
223	15 興福寺～	国語教材	びあんか・うたうら 水原紫苑歌集	13	水原紫苑	雁書館	1998年	
223	16 美しき～	国語教材	びあんか・うたうら 水原紫苑歌集	49	水原紫苑	雁書館	1998年	
224	1 蛇逃げて～	国語教材	虚子五句集(上)	47	高浜虚子	岩波書店	1996年	
224	2 蝶々の～	国語教材	虚子句集	53	高浜虚子	春秋社	1928年	
224	3 月夜の葦が～	国語教材	放哉全集 第一巻	178	尾崎放哉	筑摩書房	2001年	
224	4 星が出た～	国語教材	放哉全集 第一巻	525	尾崎放哉	筑摩書房	2001年	
225	5 蛍籠～	国語教材	現代日本文学大系 95	298	荻原井泉水 著者代表	筑摩書房	1973年	
225	6 雪はげし～	国語教材	現代日本文学大系 95	293	荻原井泉水 著者代表	筑摩書房	1973年	
225	7 秋の暮～	国語教材	西東三鬼全句集	221	西東三鬼	沖積舎	2001年	
225	8 広島や～	国語教材	西東三鬼全句集	294	西東三鬼	沖積舎	2001年	
226	9 しんしんと～	国語教材	現代俳句集成 第六巻	93	池内たけし 他	河出書房新社	1983年	
226	10 蟻よバラを～	国語教材	現代俳句集成 第六巻	102	池内たけし 他	河出書房新社	1983年	
226	11 吹きおこる～	国語教材	石田波郷全集 第一巻	43	石田波郷	角川書店	1970年	
226	12 六月の～	国語教材	石田波郷全集 第二巻	31	石田波郷	角川書店	1971年	
227	13 彎曲し～	国語教材	金子兜太集 第一巻	111	金子兜太	筑摩書房	2002年	
227	14 暗黒や～	国語教材	金子兜太集 第一巻	191	金子兜太	筑摩書房	2002年	
227	15 みちのくの～	国語教材	現代一〇〇名句集⑧	80	稲畑廣太郎 他 編集	東京四季出版	2005年	
227	16 紅梅や～	国語教材	現代俳句全集 五	342	阿部完市 著者代表	立風書房	1978年	
229	柿くへば～	国語教材	子規句集	170	高浜虚子 選	岩波書店	1997年	
229	正岡子規	写真						国立国会図書館
230	物語のおわり	国語教材	物語のおわり	128-138	湊かなえ	朝日新聞出版	2018年	
243	湊かなえ	写真						朝日新聞社/P200722000277
243	『告白』表紙	写真	告白	カバー	湊かなえ	双葉社	2010年	
243	林真理子	写真						林真理子
245	『ツナグ』表紙	写真	ツナグ	カバー	辻村深月	新潮社	2012年	
245	『N』表紙	写真	N	カバー	道尾秀介	集英社	2024年	
246	幼少期の光源氏(左図の一部を拡大したもの)	写真						メトロポリタン美術館
247	源氏物語絵巻(伝・海北友雪 画)	写真						メトロポリタン美術館
248	源氏物語 与謝野晶子 訳	国語教材	鉄幹 晶子 全集 28	15-16	与謝野寛・与謝野晶子	勉誠出版	2009年	
249	与謝野晶子	写真						朝日新聞社/P151112001540
250	源氏物語 谷崎潤一郎 訳	国語教材	谷崎潤一郎全集 第二十七巻	19-21	谷崎潤一郎	中央公論社	1983年	
251	谷崎潤一郎	写真						朝日新聞社/P110127002030

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
252	源氏物語 角田光代 訳	国語教材	池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集04 源氏物語 上	21-23	角田光代	河出書房新社	2017年	
253	角田光代	写真						朝日新聞社/P180326001004
254	源氏物語 原文	国語教材	新編日本古典文学全集20 源氏物語①	37-39	阿部秋生 他 校注	小学館	1994年	
255	紫式部(中村大三郎 画)	写真						京都市学校歴史博物館
256	窯変源氏物語	国語教材	窯変源氏物語1	60-64	橋本治	中央公論新社	1995年	
259	橋本治	写真						朝日新聞社/P160426001147
259	『源氏物語 1』表紙	写真	源氏物語 1	カバー	紫式部著、角田光代訳	河出書房新社	2023年	
260	『源氏物語』表紙	写真	源氏物語 巻一	カバー	紫式部著、瀬戸内寂聴訳	講談社	2007年	
260	『源氏物語』表紙	写真	源氏物語 (第1巻)	カバー	紫式部著、大塚ひかり訳	筑摩書房	2008年	
261	『六条御息所 源氏がたり』表紙	写真	六条御息所 源氏がたり(上)	カバー	林真理子	小学館	2016年	
261	『私本・源氏物語』表紙	写真	新装版 私本・源氏物語	カバー	田辺聖子	文藝春秋	2011年	
262	文学のふるさと	国語教材	坂口安吾全集03	264-270	坂口安吾	筑摩書房	1999年	改変については「加除訂正一覧」参照
264	鬼瓦	写真						アマナイメージズ/25735007277
266	伊勢物語絵巻(模本)	写真						DNPアートコミュニケーションズ/C0028775
266	伊勢物語絵巻(模本)(下は人物部分を拡大したもの)	写真						DNPアートコミュニケーションズ/C0028775
272	坂口安吾	写真						日本近代文学館/P0001565
273	『風博士』表紙	写真	木枯の酒倉から・風博士	カバー	坂口安吾	講談社	1993年	
273	『墮落論』表紙	写真	墮落論	カバー	坂口安吾	集英社	1990年	
273	『白痴』表紙	写真	白痴	カバー	坂口安吾	新潮社	1949年	
273	『追憶 坂口安吾』表紙	写真	追憶 坂口安吾	カバー	坂口三千代	筑摩書房	1995年	
273	『坂口安吾と中上健次』表紙	写真	坂口安吾と中上健次	カバー	柄谷行人	講談社	2006年	
273	『安吾のことば』表紙	写真	安吾のことば	カバー	藤沢周 編	集英社	2016年	
273	牧野信一	写真						国立国会図書館
273	尾崎士郎	写真						国立国会図書館
273	檀一雄	写真						朝日新聞社/P120629006283
274	小説の読み方	国語教材	小説の読み方	22-32	平野啓一郎	PHP研究所	2022年	改変については「加除訂正一覧」参照
283	平野啓一郎	写真						コレク・Tamaki Yoshida
283	『ある男』表紙	写真	ある男	カバー	平野啓一郎	文藝春秋	2018年	
283	ボードレール	写真						ユニフォトプレス/00468808
284	坪内逍遙	写真						日本近代文学館/P0000874
284	小説神髓	写真						日本近代文学館/P0003697
284	左から森鷗外・幸田露伴・斎藤緑雨	写真						日本近代文学館/P0001461
285	正岡子規	写真						日本近代文学館/P0002784

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
285	萩原朔太郎	写真						国立国会図書館
285	小林秀雄	写真						国立国会図書館
286	平野謙(左)と江藤淳(右)	写真						日本近代文学館/P0003216
286	平野謙	写真						朝日新聞社/P111004171377
286	江藤淳	写真						時事通信フォト/0000552674
287	森鷗外旧宅	写真						PIXTA/55251272
288	ひよこの眼	国語教材	晩年の子供	191-214	山田詠美	講談社	1994年	
292	JR吉祥寺駅	写真						PIXTA/33506898
299	秋の公園	挿絵						PIXTA/43047760
301	新宿のビル群	写真						PIXTA/59865165
305	山田詠美	写真						文藝春秋
305	『放課後の音符』表紙	写真	放課後の音符	カバー	山田詠美	新潮社	1995年	
305	三島由紀夫	写真						朝日新聞社/P150530000620
306	はね	国語教材	文學界 二〇二一年 二月号	234-242	文學界編集部	文藝春秋	2021年2月	改変については「加除訂正一覧」参照
323	小山田浩子	写真						小山田浩子
323	『穴』表紙	写真	穴	カバー	小山田浩子	新潮社	2014年	
323	椎名誠	写真						椎名誠
324	『細雪』の英訳版 表紙	写真	The Makioka Sisters	カバー	谷崎潤一郎 著、エドワード・サイデンステッカー 訳	チャールズ・イー・タトル出版	2012年	
324	『伊豆の踊子』(など)の英訳版 表紙	写真	The Izu Dancer	カバー	川端康成 他 著、エドワード・サイデンステッカー 訳	チャールズ・イー・タトル出版	2004年	
324	『金閣寺』の英訳版 表紙	写真	The Temple of the Golden Pavilion	カバー	三島由紀夫 著、イヴァン・モリス 訳	チャールズ・イー・タトル出版	2010年	
324	『TVピープル』表紙	写真	TVピープル	カバー	村上春樹	文藝春秋	1993年	
324	『MONKEY BRAIN SUSHI』表紙	写真	MONKEY BRAIN SUSHI	カバー	村上春樹 他 著、Alfred Birnbaum 編	講談社	1991年	
325	世界中で翻訳されている村上春樹『ノルウェイの森』	写真						時事通信フォト/0020067667
325	『献灯使』表紙	写真	献灯使	カバー	多和田葉子	講談社	2017年	
325	『夏物語』表紙	写真	夏物語	カバー	川上未映子	文藝春秋	2021年	
325	『Monkey 英語版 Vol.4』表紙	写真	Monkey: New Writing from Japan, 4	カバー	Ted Goossen, Motoyuki Shibata編	Monkey	2023年	
326	赤い繭	国語教材	壁	220-224	安部公房	新潮社	1969年	
332	安部公房	写真						時事通信フォト/0000915324
333	『壁—S・カルマ氏の犯罪』表紙	写真	壁	カバー	安部公房	新潮社	1969年	
333	『砂の女』表紙	写真	砂の女	カバー	安部公房	新潮社	2003年	
333	『棒になった男』表紙	写真	友達・棒になった男	カバー	安部公房	新潮社	1987年	

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
333	『思い出の作家たち』表紙	写真	思い出の作家たち	カバー	ドナルド・キーン 著、 松宮史朗 訳	新潮社	2019年	
333	『安部公房伝』表紙	写真	安部公房伝	カバー	安部ねり	新潮社	2011年	
333	『安部公房とはだれか』表紙	写真	安部公房とはだれか	カバー	木村陽子	笠間書院	2013年	
333	石川淳	写真						朝日新聞社/P100812024943
333	ドナルド・キーン	写真						朝日新聞社/P141215000952
333	ガルシア・マルケス	写真						gettyimages/98585378
334	野火	国語教材	大岡昇平全集 第二巻	128-135 137-138 199-201	大岡昇平	中央公論社	1973年	
335	旧軍隊編制単位	表	事典 昭和戦前期の 日本 制度と実態	253-370	伊藤隆 監修, 百 瀬孝 著	吉川弘文館	1990年	左記資料を参考にして作成
337	旧陸軍階級表	表	事典 昭和戦前期の 日本 制度と実態	253-370	伊藤隆 監修, 百 瀬孝 著	吉川弘文館	1990年	左記資料を参考にして作成
353	レイテ島で日本軍を追撃 するアメリカ軍	写真						朝日新聞社/P120911002268
353	『レイテ戦記』表紙	写真	レイテ戦記(一)	カバー	大岡昇平	中央公論新社	2018年	
354	大岡昇平	写真						朝日新聞社/P120618001188
355	『俘虜記』表紙	写真	俘虜記	カバー	大岡昇平	新潮社	1967年	
355	『花影』表紙	写真	花影	カバー	大岡昇平	講談社	2006年	
355	『堺港攘夷始末』表紙	写真	堺港攘夷始末	カバー	大岡昇平	中央公論新社	1992年	
355	『大岡昇平の仕事』表紙	写真	大岡昇平の仕事	カバー	中野孝次 編	岩波書店	1997年	
355	『大岡昇平』表紙	写真	大岡昇平	カバー	川西政明	河出書房新社	2016年	
355	「野火」(映画)	写真						松竹
355	スタンダード	写真						アフロ/169973396
355	小林秀雄	写真						国立国会図書館
355	中原中也	写真						日本近代文学館/P0002445
356	第一次戦後派の作家たち	写真						日本近代文学館/P0002003
357	死の直前、自衛隊で演説する三島	写真						朝日新聞社/P100604002846
358	銀の匙	国語教材	銀の匙	62-63	中勘助	岩波書店	1999年	改変については「加除訂正一覧」参照
360	檸檬	国語教材	梶井基次郎全集 第一巻	7-13	梶井基次郎	筑摩書房	1999年	
360	蓄音器	写真						PIXTA/18346611
361	カンナ	写真						PIXTA/67617550
362	切子細工	写真						PIXTA/64664531
362	煙管	写真						PIXTA/4420429

出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
363	寺町通り周辺図(大正一〇年代)	地図	實地踏測京都市街全圖(国際日本文化研究センター データベース 地図番号: 002468585)				1924年	左記資料を参考にして作成
364	慈姑	写真						PIXTA/60970043
367	当時の丸善京都店	写真						丸善雄松堂
368	アングル	写真						時事通信フォト/0016826713
369	当時の丸善洋書売り場	写真						藤田三男編集事務所
372	梶井基次郎	写真						国立国会図書館
373	『桜の樹の下には』表紙	写真	檸檬	カバー	梶井基次郎	角川春樹事務所	2011年	
373	『闇の絵巻』表紙	写真	檸檬	カバー	梶井基次郎	KADOKAWA	2013年	
373	『交尾』表紙	写真	ちくま日本文学028 梶井基次郎	カバー	梶井基次郎	筑摩書房	2008年	
373	『評伝 梶井基次郎』表紙	写真	評伝 梶井基次郎	カバー	大谷晃一	沖積舎	2002年	
373	『梶井基次郎「檸檬」のルーツ』表紙	写真	梶井基次郎「檸檬」のルーツ	カバー	河野龍也 編	武蔵野書院	2019年	
373	『私の文学的回想記』表紙	写真	私の文学的回想記	カバー	宇野千代	中央公論新社	2014年	
373	川端康成	写真						国立国会図書館
373	三好達治	写真						国立国会図書館
373	北川冬彦	写真						日本近代文学館/P0000736
374	秘やかな楽しみ	国語教材	梶井基次郎全集 第一巻	336-337	梶井基次郎	筑摩書房	1999年	
374	セザンヌ	写真						gettyimages/929227132
375	レンブラント	写真						gettyimages/640483405
375	マチス	写真						gettyimages/1422103786
376	瀬山の話	国語教材	梶井基次郎全集 第二巻	57-60	梶井基次郎	筑摩書房	1999年	
380	笑われた子	国語教材	定本 横光利一全集 第一巻	91-97	横光利一	河出書房新社	1981年	
382	高麗狗	写真						PIXTA/4717106
383	跳ね釣瓶	写真						アマナイメーجز/25538011600
388	横光利一	写真						日本近代文学館/P0003058
389	『蠅』表紙	写真	日輪・春は馬車に乗って 他人篇	カバー	横光利一	岩波書店	1981年	
389	『頭ならびに腹』表紙	写真	愛の挨拶 馬車 純粋小説論	カバー	横光利一	講談社	1993年	
389	『春は馬車に乗って』表紙	写真	機械・春は馬車に乗って	カバー	横光利一	新潮社	1969年	
389	『時間のかかる読書』表紙	写真	時間のかかる読書	カバー	宮沢章夫	河出書房新社	2014年	
389	『東と西』表紙	写真	東と西	カバー	関川夏央	講談社	2012年	
389	『横光利一と近代メディア』表紙	写真	横光利一と近代メディア	カバー	十重田裕一	岩波書店	2021年	
389	志賀直哉	写真						国立国会図書館

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
389	岸田國士	写真						日本近代文学館/P0001279
389	堀辰雄	写真						国立国会図書館
390	武者小路実篤(左)と志賀直哉(右)	写真						日本近代文学館/P0001717
390	キング	写真						日本近代文学館/P0004514
390	文藝春秋	写真						日本近代文学館/P0004605
390	江戸川乱歩(左)と吉川英治(右)	写真						朝日新聞社/P100628000086
391	斎藤緑雨	写真						日本近代文学館/P0001540
391	左から菊池寛・川端康成・片岡鉄兵・横光利一・池谷信三郎	写真						日本近代文学館/P0001016
391	島田清次郎	写真						朝日新聞社/P110120199339
392	舞姫	国語教材	鷗外全集 第一巻	425-447	森鷗外	岩波書店	1971年	
395	1900年頃のウンテル・デン・リンデン	写真						ユニフォトプレス/ULL00651849
396	ベルリン市街図(十九世紀末)	地図	新潮日本文学アルバム1	28		新潮社	1987年	左記資料を参考にして作成
			都市空間のなかの文学	227	前田愛	筑摩書房	1982年	左記資料を参考にして作成
404	シヨオペンハウエル	写真						アマナイメーجز/22177001643
404	シルレル	写真						gettyimages/157609156
408	ビオルネ	写真						gettyimages/526264284
408	ハイネ	写真						gettyimages/3276177
411	ドロシユケ	写真						gettyimages/613503778
418	ドイツ留学時代の森鷗外(左端)	写真						文京区立森鷗外記念館/300013
421	鷺	写真						photolibrary/3267106
425	樋口一葉	写真						国立国会図書館
426	森鷗外	写真						日本近代文学館/P0001139
427	『うたかたの記』表紙	写真	舞姫・うたかたの記	カバー	森鷗外	KADOKAWA	2013年	
427	『最後の一句』表紙	写真	教科書で読む名作 高瀬舟・最後の一句ほか	カバー	森鷗外	筑摩書房	2017年	
427	『高瀬舟』表紙	写真	高瀬舟	カバー	森鷗外	集英社	1992年	
427	『鷗外の思い出』表紙	写真	鷗外の思い出	カバー	小金井喜美子	岩波書店	1999年	
427	『鷗外の坂』表紙	写真	鷗外の坂	カバー	森まゆみ	中央公論新社	2012年	
427	『鷗外の恋』表紙	写真	鷗外の恋	カバー	六草いちか	河出書房新社	2020年	
427	坪内逍遙	写真						国立国会図書館
427	与謝野晶子	写真						国立国会図書館
427	永井荷風	写真						国立国会図書館
428	岩倉使節団	写真						朝日新聞社/P101025077837
430	銀の匙	国語教材	銀の匙	62-63	中勘助	岩波書店	1999年	改変については「加除訂正一覧」参照
432	掟の門前	国語教材	変身ほか、カフカ小説全集4	214-216	池内紀 訳	白水社	2001年	
435	池内紀	写真						朝日新聞社/P141118000412

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
436	『海辺のカフカ』表紙	写真	海辺のカフカ(上)	カバー	村上春樹	新潮社	2005年	
437	フランツ・カフカ	写真						朝日新聞社/P110114176748
437	『変身』表紙	写真	変身	カバー	フランツ・カフカ著、川島隆訳	KADOKAWA	2022年	
437	倉橋由美子	写真						朝日新聞社/P120629006054
438	藤野先生	国語教材	魯迅文集2	156-163	竹内好 訳	筑摩書房	1991年	
443	トルストイ	写真						gettyimages/1070556474
446	竹内好	写真						日本近代文学館/P0003445
447	藤野巖九郎	写真						東北大学史料館/C050615
448	魯迅	写真						朝日新聞社/P121122028545
448	『阿Q正伝』表紙	写真	阿Q正伝・狂人日記 他十二篇(呐喊)	カバー	魯迅 著、竹内好 訳	岩波書店	1981年	
448	林芙美子	写真						国立国会図書館
449	『呐喊』自序	国語教材	魯迅文集1	12-14	竹内好 訳	筑摩書房	1991年	
452	余が翻訳の標準	国語教材	二葉亭四迷全集 第四巻	167	二葉亭四迷	筑摩書房	1985年	
452	『獵人日記』表紙	写真	獵人日記 上	カバー	ツルゲーネフ 著、佐々木彰 訳	岩波書店	1958年	
452	ツルゲーネフ	写真						ユニフォンプレス/9.AKG311916
453	洋書と眼鏡	写真						PIXTA/16931784
453	即興詩人	写真						日本近代文学館/P0004062
453	於母影	写真						日本近代文学館/P0004717
454	父帰る	国語教材	菊池寛全集 第一巻	95-103	菊池寛	文藝春秋	1993年	改変については「加除訂正一覧」参照
459	椋の木	写真						PIXTA/15589608
459	百舌	写真						PIXTA/39656158
467	文士劇『父帰る』	写真						毎日新聞社/ P20041208dd1dd1phj322000
468	菊池寛	写真						朝日新聞社/P111031003667
469	『身投げ救助業』表紙	写真	マスク	カバー	菊池寛	文藝春秋	2020年	
469	『勝負事』表紙	写真	ちくま日本文学027 菊池寛	カバー	菊池寛	筑摩書房	2008年	
469	『形』表紙	写真	恩讐の彼方に・忠直 卿行状記 他八篇	カバー	菊池寛	岩波書店	1952年	
469	『菊池寛の仕事』表紙	写真	菊池寛の仕事	カバー	井上ひさし 編著	文藝春秋	1999年	
469	『菊池寛と大映』表紙	写真	菊池寛と大映	カバー	菊池夏樹	白水社	2011年	
469	『こころの王国』表紙	写真	こころの王国	カバー	猪瀬直樹	文藝春秋	2008年	
469	直木三十五	写真						国立国会図書館
469	久米正雄	写真						国立国会図書館
469	芥川龍之介	写真						国立国会図書館
470	一幕物に就て	国語教材	菊池寛全集 第二十二巻	567	菊池寛	文藝春秋	1995年	
471	島村抱月	写真						国立国会図書館
471	小山内薫	写真						国立国会図書館

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
472	伊勢物語 好ける物思ひ	国語教材	新編日本古典文学全集12 竹取物語 伊勢物語 大 和物語 平中物語	148-149	片桐洋一 高橋正治 福井貞助 清水好子 校注	小学館	1994年	
474	平家物語 小督	国語教材	新編日本古典文学全集 45 平家物語①	431-432	市古貞次 校注	小学館	1994年	
476	好色一代男 消した所が恋 のはじまり	国語教材	新編日本古典文学全集 66 井原西鶴集①	20-22	暉峻康隆 東明雅 校注	小学館	1996年	
477	『好色一代男』板本挿絵	写真						国文学研究資料館
479	『斜陽』表紙	写真	斜陽	カバー	太宰治	KADOKAWA	2009年	
479	『ののほな通信』表紙	写真	ののほな通信	カバー	三浦しをん	KADOKAWA	2021年	
480	演技する「私」	国語教材	「私」をつくる	14-20	安藤宏	岩波書店	2015年	改変については「加除訂正一覧」参照
480	サイデンステッカー	写真						日本近代文学館/P0010677
486	安藤宏	写真						安藤宏
488	読者にできる仕事	国語教材	読者はどこにいるのか	102-109	石原千秋	河出書房新社	2021年	改変については「加除訂正一覧」参照
496	石原千秋	写真						石原千秋
497	本棚	写真						PIXTA/69297110
498	縦書きの本	挿絵						PIXTA/119885998
498	つないだ手	写真						PIXTA/34501845
499	本とコーヒーカップ	写真						PIXTA/63309687
500	二葉亭四迷	写真						国立国会図書館
500	浮雲	国語教材	浮雲	125	二葉亭四迷	岩波書店	2004年	
500	山田美妙	写真						国立国会図書館
500	花ぐるま	国語教材	山田美妙集 第1巻	201	『山田美妙集』編集委員会	臨川書店	2012年	
500	尾崎紅葉	写真						国立国会図書館
500	二人女房	国語教材	紅葉全集 第三巻	354	尾崎紅葉	岩波書店	1993年	
501	擬古典主義の作家たち	写真						日本近代文学館/P0001431
502	芥川龍之介の中国視察旅行送別会	写真						日本近代文学館/P0000042
503	プロレタリア文学の作家たち	写真						日本近代文学館/P0003480
503	新感覚派の作家たち	写真						日本近代文学館/P0001044
504	戦地へ送り出されるペン部隊	写真						朝日新聞社/P120202174512
505	新戯作派(無頼派)の作家たち	写真						日本近代文学館/P0001569
506	台湾での村上春樹 『1Q84』専売コーナー	写真						時事通信フォト/0008695219
507	『オルタネート』表紙	写真	オルタネート	カバー	加藤シゲアキ	新潮社	2023年	
507	『母影』表紙	写真	母影	カバー	尾崎世界観	新潮社	2023年	
510	武者小路実篤	写真						国立国会図書館
510	志賀直哉	写真						国立国会図書館
510	松岡譲	写真						日本近代文学館/P0008209
510	久米正雄	写真						国立国会図書館
510	寺田寅彦	写真						国立国会図書館

出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
510	森田草平	写真						日本近代文学館／P0002978
510	内田百閒	写真						国立国会図書館
510	夏目漱石	写真						国立国会図書館
510	坪内逍遙	写真						国立国会図書館
510	森鷗外	写真						日本近代文学館／P0001139
510	谷崎潤一郎	写真						朝日新聞社／P110127002030
510	正岡子規	写真						国立国会図書館
510	永井荷風	写真						国立国会図書館
510	佐藤春夫	写真						朝日新聞社／P111031004078
510	二葉亭四迷	写真						国立国会図書館
510	国木田独歩	写真						国立国会図書館
510	田山花袋	写真						国立国会図書館
510	島崎藤村	写真						日本近代文学館／P0001756
511	芥川龍之介	写真						国立国会図書館
511	菊池寛	写真						朝日新聞社／P111031003667
511	太宰治	写真						国立国会図書館
511	坂口安吾	写真						日本近代文学館／P0001565
511	檀一雄	写真						朝日新聞社／P120629006283
511	横光利一	写真						日本近代文学館／P0003058
511	川端康成	写真						国立国会図書館
511	大岡昇平	写真						朝日新聞社／P120618001188
511	三好達治	写真						国立国会図書館
511	梶井基次郎	写真						国立国会図書館
511	井伏鱒二	写真						朝日新聞社／P170804001058
511	小林秀雄	写真						国立国会図書館
511	室生犀星	写真						国立国会図書館
511	萩原朔太郎	写真						国立国会図書館
511	宮澤賢治	写真						国立国会図書館
511	中原中也	写真						日本近代文学館／P0002445
見返し④	学校系統図	図	文部科学省WEBサイト (https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1318188.htm)					左記資料を参考にして作成
見返し⑤	開化好男子	写真						江戸東京博物館／90200733-90200734
見返し⑤	和洋折衷の服装の男性	写真						風俗博物館
見返し⑤	木製冷蔵庫	写真						府中家具木工資料館
見返し⑤	卓袱台	写真						府中家具木工資料館
見返し⑤	箱枕	写真						府中家具木工資料館

出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
見返し⑥	物価の変遷	表	日本の物価と風俗 135年のうつり変わり	551 556 558-560 562 566-567	株式会社アカデミー 編	同盟出版サービス	1997年	左記資料を参考にして作成
			総務省統計局WEBサイト (https://www.stat.go.jp/)					
見返し⑥	囲炉裏	写真						世田谷区立民家園
見返し⑥	和室	写真						アマナイメージズ/28144084689
見返し⑥	煙草盆	写真						府中家具木工資料館
見返し⑥	長火鉢	写真						府中家具木工資料館

*上記以外の写真などは自社作成

(備考)1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。), 掲載ページ, 著作者・編集者等, 発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号, 発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称, 及び当該資料に付された整理番号等を示すなど, 出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。

■原文に加除訂正を加えた箇所の一覧

教材	ページ・行	教科書本文	原文（傍線は原文にはなし）	訂正理由
ナイン	七四・1	放送局での	文化放送での	特定の企業名を改変。
	七八・14	放送局の前で	文化放送の前で	特定の企業名を改変。
三月の風	九二・11	いいことが並べてある。	いいことが並べてある。 <u>うまいことを言</u> って、 <u>実情はタコ部屋じゃないの</u> か。 <u>父親は息子が他人に酷使される場</u> 面を想像して、 <u>暗い気持になる。まさ</u> か <u>そんなひどいものじゃないにして</u> も、 <u>子供は世間のこわさを知らぬの</u> だ。	学習上の配慮により削除。
	一〇〇・9	その昔自分にもそんなことがあったのを父親は思い出している。	おやじを殺してやる。そんな一行を日記に書きつけた日 <u>が</u> 、その昔自分にもあったことを父親は思い出している。	著作権者による改変。
チェックポイント② 銀の匙 こころ	一四八・下5	痩せっぽちなどと	痩っぽちだのかがんぼだのと	学習上の配慮により改変。
	一六六・下17	ないように静かでした。	ないように静かでした。（以下、「先生と遺書」三九まで（原文二五五頁2行目まで）中略）	学習の便宜を図るため改変。
	一七二・下17	覚醒	自覚	単行本『心』（1914年 岩波書店刊）収録時に改められた語に改変。
現代日本の開化	一九六・上1	現代の日本の開化は一般の開化と	それで現代の日本の開化は <u>前に述べた</u> 一般の開化と	学習の便宜を図るため削除。
	一九七・上8	外発的と言うよりほかに仕方がない。	外発的といふより外に仕方がない、 <u>其理由は無論明白な話で、前詳しく申上</u> た開化の定義に立戻つて述べるならば、 <u>吾々が四五十年前始めて打つ</u> かつた、 <u>又今でも接触を避ける訳に行か</u> ないかの西洋の開化といふものは我々よりも <u>数十倍労力節約の機関を有する開</u> 化で、 <u>又我々よりも数十倍娯楽道楽の</u> 方面に積極的に活力を使用し得る方法を具備した開化である、 <u>粗末な説明ではあるが、</u>	学習の便宜を図るため削除。
	二〇〇・下13	残念ながらそう行っていないので困るのです。	残念ながらさう行つて居ないので困るのです、 <u>行つて居ないと云ふのは、先</u> 程も申した通り活力節約活力消耗の二大方面に於て <u>丁度複雑の程度二十を有</u> して居つた所へ、 <u>俄然外部の圧迫で三</u> 十代迄飛び付かなければならなくなつたのですから、 <u>恰も天狗にさらわれた</u> 男の様に無我夢中で飛び付いて行くのです、	学習の便宜を図るため削除。
	二〇三・上18	吾人の幸福は野蛮時代とそう変わりはなさそうであるうえに、	吾人の幸福は野蛮時代とさう変りはなさ <u>うである事は前御話し</u> た通りである <u>上に、</u>	学習の便宜を図るため削除。

教材	ページ・行	教科書本文	原文（傍線は原文にはなし）	訂正理由
永訣の朝	二一三・11	どうかこれが兜率の天の食に変わって／やがてはおまへとみんなとに／聖い資糧をもたらすことを	どうかこれが天上のアイスクリームになつて／おまへとみんなとに聖い資糧をもたらすやうに	宮澤家所蔵本における自筆手入れに従って改変。
文学のふるさと	二六四・12	「狂言」の中でも	四六判の本で五、六行しかなくて、「狂言」の中でも	正確性に欠ける内容であるため削除。
	二六五・16	自体がモラルなのだ、と。	自体がモラルなのだ、と。（以下、原文二六七頁18行目まで中略）	学習の便宜を図るため改変。
	二六七・16	そこで、白玉か何ぞと人の問ひしとき	そこで、ぬばたまのなにかと人の問ひしとき	『伊勢物語』原文に合わせて改変。
小説の読み方	二七四・3	そこで採用されたのが、「小説」という言葉であり、	そこで採用されたのが、②で見えるように「小説」という言葉であり、	学習の便宜を図るため削除。
	二七六・4	表現形式なのだ。	表現形式なのだ。（以下、原文二五頁1行目まで中略）	学習の便宜を図るため改変。
	二七六・6	『小鳥の歌からヒトの言葉へ』	『小鳥の歌からヒトの言葉へ』（岩波書店）	特定の企業名を含む部分を、削除。
はね	三一五・16	できるだけ急いで、ホナミさんの家へ行った。	できるだけ急いで、しかし事故などに遭わないようにしつつ（夏休み中に同じ中学の生徒が一人自転車事故で亡くなっていた。体育館で追悼集会があった）ホナミさんの家へ行った。	学習上の配慮により削除。
チェックポイント④ 銀の匙	三五八・下12	痩せっぽちなどと	痩っぽちだのかがんぼだのと	学習上の配慮により改変。
チェックポイント⑤ 銀の匙	四三〇・下8	痩せっぽちなどと	痩っぽちだのかがんぼだのと	学習上の配慮により改変。
父帰る	四五五・上11	賢一郎 財産があるという人やけに、ええ口やがなあ。 母 けんど、一万や、二万の財産は使ひ出したらなんの役にもたたんけえな。	母 財産があると云ふ人やけに、ええ口やがなあ。 賢一郎 けんど、一万や、二万の財産は使ひ出したら何の益にもたゝんけえな。	明らかな誤植と考えられるため、『父帰る・藤十郎の恋 菊池寛戯曲集』（2016年 岩波文庫）に合わせて改変。
演技する「私」	四八五・12	大きな違和感を持つことだろう。	大きな違和感を感じることだろう。	学習の便宜を図るため改変。
読者にできる仕事	四八八・9	『終りの意識』岡本靖正訳	『終りの意識』岡本靖正訳、 <u>国文社、一九九一・四</u>	特定の企業名を含む部分を、削除。
	四八八・10	持って回った言い方をしているが、読者は結末において	持って回った言い方をしているが、 <u>第四章までの議論を踏まえれば、読者は結末において</u>	学習上の配慮により削除。
	四八九・5	『小説と時間』	『小説と時間』朝日選書、一九七八・一〇	特定の企業名を含む部分を、削除。
	四九一・15	出さなければならないからなのである。	出さなければならないからなのである。 <u>新入生を教えていると、高校までの国語教育がいかに均質な内面の共同体を作り上げているのかがよくわかる。</u>	学習上の配慮により削除。
	四九二・4	成田龍一は、	<u>第三章で指摘したように、成田龍一は、</u>	学習上の配慮により削除。
	四九三・7	『新文学入門 T・イーグルトン『文学とは何か』を読む』	『新文学入門 T・イーグルトン『文学とは何か』を読む』岩波書店、一九九五・八	特定の企業名を含む部分を、削除。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
4	38	二次元コード	自社	自社ページURL	コンテンツ選択画面 ・角田光代インタビュー ・重要語テスト 鍋セット	別紙3 添付(→番号4) 動画 プログラム
5	54	二次元コード	自社	自社ページURL	コンテンツ選択画面 ・東直子インタビュー ・重要語テスト もういいよ	別紙3 添付(→番号5) 動画 プログラム
6	74	二次元コード	自社 NHK	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250266_0000	コンテンツ選択画面 ・重要語テスト ナイン NHKアーカイブス 井上ひさし	別紙4 添付(→番号6) プログラム
7	90	二次元コード	自社	自社ページURL	コンテンツ選択画面 ・重要語テスト1 三月の風 ・重要語テスト2 三月の風	別紙4 添付(→番号7) プログラム プログラム
8	106	二次元コード	自社 NHK	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250098_0000	コンテンツ選択画面 ・みずすまし(アメンボ) ・重要語テスト1 山椒魚 ・重要語テスト2 山椒魚 NHKアーカイブス 井伏鱒二	別紙4 添付(→番号8) 動画 プログラム プログラム
9	120	二次元コード	自社	自社ページURL	コンテンツ選択画面 ・朗読音声 水仙 ・重要語テスト1 水仙 ・重要語テスト2 水仙 ・補助資料 太宰治『富嶽百景』 ・補助資料 太宰治『女生徒』1	別紙5 添付(→番号9) 音声 プログラム プログラム プログラム プログラム

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
			NHK		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310141_00000	NHK for School 夏目漱石
11	206	二次元コード	自社	自社ページURL		コンテンツ選択画面 別紙7 添付(→番号11) 音声 ・朗読音声 小諸なる古城のほとり
12	210	二次元コード	自社	自社ページURL		コンテンツ選択画面 別紙8 添付(→番号12) 音声 プログラム ・朗読音声 永訣の朝 ・補助資料 宮澤賢治「松の針」 プログラム ・補助資料 宮澤賢治「無声慟哭」 プログラム ・補助資料 宮澤賢治『オツベルと象』 プログラム ・補助資料 宮澤賢治『なめとこ山の熊』 プログラム ・補助資料 宮澤賢治「雨ニモマケズ」
13	216	二次元コード	自社 NHK	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250285_0000		コンテンツ選択画面 別紙8 添付(→番号13) NHKアーカイブス 石垣りん
14	220	二次元コード	自社 NHK 国立国会図書館 国立国会図書館	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150045_00000 https://rekion.dl.ndl.go.jp/pid/3571562/1/1 https://rekion.dl.ndl.go.jp/pid/3571567/1/1		コンテンツ選択画面 別紙8 添付(→番号14) 動画 動画 動画 ・鴟 ・ひばり ・鶺鴒 NHK for School 10min. ボックス 短歌 国立国会図書館デジタルコレクション 自作短歌朗読 斎藤茂吉 国立国会図書館デジタルコレクション 自作短歌朗読 釈迺空

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考	
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要		
			NHK		https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250188_0000	NHKアーカイブス 斎藤史	
15	224	二次元コード	自社	自社ページURL		コンテンツ選択画面	別紙9 添付(→番号15) 動画 動画
			NHK		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150046_00000	NHK for School 10min. ボックス 俳句	
			国立国会図書館		https://rekion.dl.ndl.go.jp/pid/3571308/1/1	国立国会図書館デジタルコレクション 俳句朗読 虚子	
			NHK		https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250555_0000	NHKアーカイブス 金子兜太	
16	230	二次元コード	自社	自社ページURL		コンテンツ選択画面	別紙9 添付(→番号16) プログラム
						・重要語テスト 物語のおわり	
17	246	二次元コード	自社	自社ページURL		コンテンツ選択画面	別紙9 添付(→番号17) 動画
			NHK		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150067_00000	・角田光代インタビュー NHK for School 10min. ボックス 源氏物語(紫式部)	
			NHK		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150094_00000	NHK for School おはなしのくにクラシック 源氏物語(紫式部)	
18	262	二次元コード	自社	自社ページURL		コンテンツ選択画面	別紙10 添付(→番号18) プログラム プログラム プログラム プログラム
						・重要語テスト 文学のふるさと	
						・補助資料 坂口安吾 『風博士』	
						・補助資料 坂口安吾 『墮落論』	
						・補助資料 坂口安吾 『白痴』	

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
19	274	二次元コード	自社	自社ページURL	コンテンツ選択画面 ・平野啓一郎インタビュー ・重要語テスト 小説の読み方	別紙10 添付(→番号19) 動画 プログラム
20	288	二次元コード	自社	自社ページURL	コンテンツ選択画面 ・重要語テスト1 ひよこの眼 ・重要語テスト2 ひよこの眼	別紙11 添付(→番号20) プログラム プログラム
21	306	二次元コード	自社 NHK	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005300159_00000	コンテンツ選択画面 ・重要語テスト はね NHK for School トンボの育ち方	別紙11 添付(→番号21) プログラム
22	326	二次元コード	自社 NHK	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250088_00000	コンテンツ選択画面 ・重要語テスト 赤い繭 NHKアーカイブス 安部公房	別紙11 添付(→番号22) プログラム
23	334	二次元コード	自社 NHK NHK	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250015_00000 https://www.nhk.or.jp/archives/sensou/	コンテンツ選択画面 ・重要語テスト1 野火 ・重要語テスト2 野火 ・重要語テスト3 野火 NHKアーカイブス 大岡昇平 NHKアーカイブス 戦争	別紙12 添付(→番号23) プログラム プログラム プログラム
24	360	二次元コード	自社	自社ページURL	コンテンツ選択画面 ・朗読音声 檸檬 ・重要語テスト1 檸檬 ・重要語テスト2 檸檬 ・補助資料 梶井基次郎『桜の樹の下には』	別紙12 添付(→番号24) 音声 プログラム プログラム プログラム

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
					<ul style="list-style-type: none"> ・補助資料 梶井基次郎『闇の絵巻』 ・補助資料 梶井基次郎『交尾』 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム プログラム
25	380	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 ・朗読音声 笑われた子 ・重要語テスト 笑われた子 ・補助資料 横光利一『蠅』 ・補助資料 横光利一『頭ならびに腹』 ・補助資料 横光利一『春は馬車に乗って』 	<ul style="list-style-type: none"> 別紙13 添付(→番号25) 音声 プログラム プログラム プログラム プログラム
26	392	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 ・朗読音声1 舞姫 ・朗読音声2 舞姫 ・鷺(シラサギ) ・重要語テスト1 舞姫 ・重要語テスト2 舞姫 ・重要語テスト3 舞姫 ・重要語テスト4 舞姫 ・補助資料 森鷗外『普請中』 ・補助資料 森鷗外『うたかたの記』 ・補助資料 森鷗外『最後の一句』 ・補助資料 森鷗外『高瀬舟』 	<ul style="list-style-type: none"> 別紙14 添付(→番号26) 音声 音声 動画 プログラム プログラム プログラム プログラム プログラム プログラム プログラム プログラム プログラム
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150050_00000	NHK for School 10min.ボックス 舞姫(森鷗外)	
27	432	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 	別紙15 添付(→番号27)

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
					<ul style="list-style-type: none"> ・重要語テスト 掟の門前 	プログラム
28	438	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 ・重要語テスト 藤野先生 	別紙15 添付(→番号28) プログラム
29	454	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 ・朗読音声 父帰る ・百舌 ・重要語テスト1 父帰る ・重要語テスト2 父帰る ・補助資料 菊池寛『身投げ救助業』 ・補助資料 菊池寛『勝負事』 ・補助資料 菊池寛『形』 	別紙16 添付(→番号29) 音声 動画 プログラム プログラム プログラム プログラム
30	472	二次元コード	自社 NHK NHK NHK	自社ページURL https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150065.00000 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150070.00000 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150088.00000	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 NHK for School 10min. ボックス 伊勢物語 NHK for School 10min. ボックス 平家物語 NHK for School おはなしのくにクラシック 平家物語 	別紙16 添付(→番号30)
31	480	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 ・重要語テスト 演技する「私」 	別紙17 添付(→番号31) プログラム
32	488	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 ・重要語テスト 読者にできる仕事 	別紙17 添付(→番号32) プログラム
33	500	二次元コード	自社	自社ページURL	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ選択画面 ・近現代文学史クイズ1 	別紙18 添付(→番号33) プログラム

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150058_00000	・近現代文学史クイズ2 ・近現代文学史クイズ3 ・近現代文学史クイズ4 NHK for School 10min. ボックス 明治文学史	プログラム プログラム プログラム

(備考) 申請図書中に発行者が管理するウェブサイトのアドレス(二次元コードその他のこれに代わるものを含む)を掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「番号」の欄は、複数のページ等に記載されたウェブサイトのアドレスが同一のウェブサイトを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。
- ② 「ページ」の欄は、ウェブサイトのアドレスの申請図書における掲載ページを示す。
- ③ 「種別」の欄は、URL, 二次元コード等の別を示す。

2 「学習上の参考にする情報」の欄については次のとおりとする。

- ① 「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考にするページを作成する団体名などを記入する。
- ② 「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考にするページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。
- ③ 「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。

3 申請図書中のウェブサイトのアドレスが参照させるウェブサイトの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。

4 学習上の参考にする情報を示すウェブサイトが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブサイトの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
1		 <p>[学習用コンテンツの使用方法]</p>
2		 <p>[重要語テスト「フィクション」の力]</p>


<p>番号 3</p>	<p>一次遷移画面</p> <p>山月記</p> <p>音声資料</p> <p>朗読音声 山月記</p> <p>テストアプリ</p> <p>重要語テスト1 山月記</p> <p>重要語テスト2 山月記</p> <p>重要語テスト3 山月記</p> <p>補助資料</p> <p>中島敦「文字禍」 山月記 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>中島敦「光と風と夢」1 山月記 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>中島敦「光と風と夢」2 山月記 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>中島敦「光と風と夢」3 山月記 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>中島敦「光と風と夢」4 山月記 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>中島敦「光と風と夢」5 山月記 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>中島敦「名人伝」 山月記 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>李銀亮「人虎伝」 山月記 「人虎伝」の現代語訳。</p> <p>ウェブラック</p> <p>NHK for School 10min, ボックス 山月記 (中島敦) 小説『山月記』の解説動画。</p>	<p>二次遷移画面</p> <div data-bbox="592 152 858 645"> <p>「山月記」重要語 1 1/20</p> <p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p> <p>【博学】</p> <p>① さまざまな学問に強い関心を寄せていること ② 広い範囲にわたってたくさんの知識を持っていること ③ 昼夜を問わず勉学に勤しむこと ④ 大学院を修了して博士の学位を取得すること</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> <p>[重要語テスト 1 山月記]</p> </div> <div data-bbox="882 152 1149 645"> <p>「山月記」重要語 2 1/20</p> <p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p> <p>【博学】</p> <p>① 気持ちがすっきりとする様子 ② 気が抜けてぼんやりとする様子 ③ 複雑な心情が絡み合っている様子 ④ 気持ちが高ぶっている様子</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> <p>[重要語テスト 2 山月記]</p> </div> <div data-bbox="1173 152 1439 645"> <p>「山月記」重要語 3 1/19</p> <p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p> <p>【薄俗】</p> <p>① 才能に欠けること ② 幸せにめぐまれないこと ③ おごりたかぶっていること ④ 心がこもっていないこと</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> <p>[重要語テスト 3 山月記]</p> </div> <div data-bbox="592 696 858 1189"> <p>中島敦「文字禍」</p> <p>文字禍</p> <p>文字の雪などというものが、一体、あるものか、どうか。アッシリヤ人は無数の精霊を知っている。夜、闇の中を跳梁するリル、その雌</p> <p>中島敦</p> <p>[中島敦「文字禍」]</p> </div> <div data-bbox="882 696 1149 1189"> <p>中島敦「光と風と夢」1</p> <p>光と風と夢</p> <p>一 一八八四年五月のある夜遅く、三十五歳のロバート・ルイス・スティヴンソンは、南仏イエールの客舎で、突然、ひ</p> <p>中島敦</p> <p>[中島敦「光と風と夢」1]</p> </div> <div data-bbox="1173 696 1439 1189"> <p>中島敦「光と風と夢」2</p> <p>五</p> <p>——サモアにおいては古来地方自治の制、極めて鞏固にして、名目は王国なれども、王はほとんど政治上の実権を有せず。実際の政治はことごとく、各地方のフ</p> <p>中島敦</p> <p>[中島敦「光と風と夢」2]</p> </div> <div data-bbox="592 1238 858 1731"> <p>中島敦「光と風と夢」3</p> <p>九</p> <p>満十五歳以後、書くことが彼の生活の中心であった。自分は作家となるべく生まれついている、という信念は、いつ、また、どこから生じたものか、自分でも</p> <p>中島敦</p> <p>[中島敦「光と風と夢」3]</p> </div> <div data-bbox="882 1238 1149 1731"> <p>中島敦「光と風と夢」4</p> <p>十三</p> <p>独・英・米三国に対する敗残の一マターファでは、帰趨はあまりに明らかであった。マノノ島へ急航したビックフォード艦長は三時間の期限付で降服を促した</p> <p>中島敦</p> <p>[中島敦「光と風と夢」4]</p> </div> <div data-bbox="1173 1238 1439 1731"> <p>中島敦「光と風と夢」5</p> <p>十七</p> <p>一八九四年九月×日 昨日料理番のタロロが「義父が他の酋長たちと一緒に、明日、何か御相談に上がるそうです。」と言った。彼の義父、</p> <p>中島敦</p> <p>[中島敦「光と風と夢」5]</p> </div>
-----------------	--	---

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
3		 <p>中島敦「名人伝」</p> <p>名人伝</p> <p>趙の邯鄲の都に住む紀昌という男が、天下第一の弓の名人になろうと志を立てた。己の師と頼むべき人物を物色するに、当今弓矢を執っては、名手・飛衛に及</p> <p>中島敦</p> <p>李景亮「人虎伝」</p> <p>人虎伝〔現代語訳〕</p> <p>李景亮</p> <p>下僕がその行方をたずねて捜したが、ひと月たっても李徴はとうとう帰ってこなかった。そこで下僕は李徴の馬に乗り、李徴の荷物を持って遠くへ逃げてしま</p> <p>李景亮</p> <p>[中島敦「名人伝」] [李景亮「人虎伝」]</p>
4		 <p>「鍋セット」重要語 1/16</p> <p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p> <p>【重要語訳】</p> <p>① 姿をくرامして行方不明になること</p> <p>② 元気をなくして沈み込むこと</p> <p>③ 地位や財産を失って落ちぶれること</p> <p>④ けがや病気で衰え弱ること</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>解答</p> <p>[角田光代インタビュー] [重要語テスト 鍋セット]</p>
5		 <p>「もういいよ」重要語 1/13</p> <p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p> <p>【手順】</p> <p>① 高度な技術</p> <p>② ものごとを処理する方法</p> <p>③ 表情や態度に表れる気分</p> <p>④ 他人のためにかける手間</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>解答</p> <p>[東直子インタビュー] [重要語テスト もういいよ]</p>







番号	一次遷移画面	二次遷移画面
6		 <p>[重要語テスト ナイン]</p>
7		 <p>[重要語テスト 1 三月の風] [重要語テスト 2 三月の風]</p>
8		 <p>[重要語テスト 1 山椒魚] [重要語テスト 2 山椒魚]</p>

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
9	<div data-bbox="272 152 520 842"> <p>水仙</p> <p>音声資料</p> <p>朗読音声 水仙</p> <p>テストアプリ</p> <p>重要語テスト1 水仙</p> <p>重要語テスト2 水仙</p> <p>補助資料</p> <p>太宰治『富嶽百景』 水仙 「作者解説」(作品紹介)掲載作品の本文。</p> <p>太宰治『女生徒』1 水仙 「作者解説」(作品紹介)掲載作品の本文。</p> <p>太宰治『女生徒』2 水仙 「作者解説」(作品紹介)掲載作品の本文。</p> <p>太宰治『女生徒』3 水仙 「作者解説」(作品紹介)掲載作品の本文。</p> <p>太宰治『桜桃』 水仙 「作者解説」(作品紹介)掲載作品の本文。</p> </div>	<div data-bbox="592 152 858 645"> <p>「水仙」重要語1 1/20</p> <p>次の言葉の意味として最も適当なものを選びなさい。</p> <p>【感念】</p> <p>① 疑わしく思う気持ち ② 憎み嫌う気持ち ③ 理解が及ばないこと ④ 思いを避らすこと</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> </div> <p>[重要語テスト1 水仙]</p> <div data-bbox="879 152 1145 645"> <p>「水仙」重要語2 1/20</p> <p>次の言葉の意味として最も適当なものを選びなさい。</p> <p>【裏聲】</p> <p>① 故郷を懐かしむこと ② 物事に態きで怠ること ③ 心配や悲しみで心を痛めること ④ 相反する二つの感情の間で迷うこと</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> </div> <p>[重要語テスト2 水仙]</p> <div data-bbox="1166 152 1449 689"> <p>太宰治『富嶽百景』</p> <p>富嶽百景 太宰治</p> <p>富士の頂角、広重の富士は八十五度、文晁の富士も八十四度くらい、けれども、陸軍の実測図によって東西および南北に断面図を作ってみると、東西縦断は頂</p> <p>[太宰治『富嶽百景』]</p> </div> <div data-bbox="592 696 858 1189"> <p>太宰治『女生徒』1</p> <p>女生徒 太宰治</p> <p>あき、眼をさますときの気持ちは、面白い。かくれんぼのとき、押入れの真っ暗い中に、じっと、しゃがんで隠れていて、突然、でこちゃんに、がらっと襖を</p> <p>[太宰治『女生徒』1]</p> </div> <div data-bbox="879 696 1145 1189"> <p>太宰治『女生徒』2</p> <p>けさの小杉先生は綺麗。私の風呂敷みたいに綺麗。美しい青色の似合う先生。胸の真紅のカーネーションも目立つ。「つくる」ということが、無かったら、もっともこの先生すきなだけけれど。</p> <p>[太宰治『女生徒』2]</p> </div> <div data-bbox="1166 696 1449 1189"> <p>太宰治『女生徒』3</p> <p>郵便函には、夕刊と、お手紙二通。一通はお母さんへ、松坂屋から夏物売出しのご案内。一通は、私へ、いとこの順二さんから。こんど前橋の連隊へ転任することになりました。お母さんよろしく</p> <p>[太宰治『女生徒』3]</p> </div> <div data-bbox="592 1234 858 1727"> <p>太宰治『桜桃』</p> <p>桜桃 太宰治</p> <p>われ、山にむかいて、目を挙ぐ。 ——詩篇、第百二十一。</p> <p>子供より親が大事、と思いたい。子供</p> <p>[太宰治『桜桃』]</p> </div>

<p>番号 10</p>	<p>一次遷移画面</p> <p>こころ</p> <p>音声資料</p> <ul style="list-style-type: none">朗読音声1 こころ 150頁 1行目~158頁 下9行目朗読音声2 こころ 158頁 10行目~172頁 下15行目朗読音声3 こころ 172頁 下16行目~186頁 上2行目朗読音声4 こころ 186頁 3行目~192頁 下6行目 <p>テストアプリ</p> <ul style="list-style-type: none">重要語テスト1 こころ重要語テスト2 こころ重要語テスト3 こころ重要語テスト4 こころ重要語テスト5 こころ重要語テスト6 こころ <p>補助資料</p> <ul style="list-style-type: none">上先生と私一 こころ 150頁 前略箇所。上先生と私二 こころ 150頁 前略箇所。上先生と私三 こころ 150頁 前略箇所。下先生と遺書 三八 こころ 166頁 下18行目 中略箇所。下先生と遺書 三九 こころ 166頁 下18行目 中略箇所。夏目漱石「吾輩は猫である」(一) こころ 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。夏目漱石「文鳥」 こころ 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。夏目漱石「硝子戸の中」(一~五) こころ 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。 <p>ウェブリンク</p> <ul style="list-style-type: none">NHK for School 10min. ボックス こころ (夏目漱石) 小説『こころ』の解説動画。NHK for School 夏目漱石 夏目漱石の解説動画。	<p>二次遷移画面</p> <div data-bbox="592 152 858 607"><p>「こころ」重要語 1 1/22</p><p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p><p>【観察】</p><ul style="list-style-type: none">① 自分の思うままになること② 親しくすること③ 決意をひるがえすこと④ 力を尽くすこと<p>① ② ③ ④</p><p>解答</p></div> <div data-bbox="882 152 1149 607"><p>「こころ」重要語 2 1/21</p><p>次の意味を表す言葉を選びなさい。</p><p>ひょっとすると。</p><ul style="list-style-type: none">① むろん② あいにく③ しかるべき④ ことによる<p>① ② ③ ④</p><p>解答</p></div> <div data-bbox="1173 152 1439 607"><p>「こころ」重要語 3 1/21</p><p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p><p>【情然】</p><ul style="list-style-type: none">① しょんぼりして元気がない様子② 勇気や気力を奮い起こす様子③ 驚きあきれて声も出ない様子④ 落ち着いて物に動じない様子<p>① ② ③ ④</p><p>解答</p></div> <div data-bbox="592 656 858 1155"><p>[重要語テスト 1 こころ]</p><p>「こころ」重要語 4 1/21</p><p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p><p>【熾烈】</p><ul style="list-style-type: none">① 姿がはなやかで美しいこと② 勢いが盛んで激しいこと③ 物音が大きく耳障りなこと④ 扱いが厳しくむごいこと<p>① ② ③ ④</p><p>解答</p></div> <div data-bbox="882 656 1149 1155"><p>[重要語テスト 2 こころ]</p><p>「こころ」重要語 5 1/21</p><p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p><p>【いびつ】</p><ul style="list-style-type: none">① 表面が滑らかなこと② 形がゆがんでいること③ 構造が込み入っていること④ 性質がどれも一緒であること<p>① ② ③ ④</p><p>解答</p></div> <div data-bbox="1173 656 1439 1155"><p>[重要語テスト 3 こころ]</p><p>「こころ」重要語 6 1/21</p><p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p><p>【波瀾】</p><ul style="list-style-type: none">① 精神の墮落② 無駄づかい③ 周囲への影響④ 激しい変化<p>① ② ③ ④</p><p>解答</p></div> <div data-bbox="592 1193 858 1234"><p>[重要語テスト 4 こころ]</p></div> <div data-bbox="882 1193 1149 1234"><p>[重要語テスト 5 こころ]</p></div> <div data-bbox="1173 1193 1439 1234"><p>[重要語テスト 6 こころ]</p></div>
------------------	--	---

番号	一次遷移画面	二次遷移画面		
10		<p>☰</p> <p>上 先生と私 一</p> <p>私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは世間を憚る遠慮というよりも、その方が私にとって自</p> <p>☛</p> <p>[上 先生と私 一]</p>	<p>☰</p> <p>上 先生と私 二</p> <p>私とその掛茶屋で先生を見た時は、先生がちょうど着物を脱いでこれから海へ入ろうとするところであった。私はその時反対に濡れた身体を風に吹かして水か</p> <p>☛</p> <p>[上 先生と私 二]</p>	<p>☰</p> <p>上 先生と私 三</p> <p>私は次の日も同じ時刻に浜へ行って先生の顔を見た。その次の日にもまた同じことを繰り返した。けれども物を言い掛ける機会も、挨拶をする場合も、二人の</p> <p>☛</p> <p>[上 先生と私 三]</p>
		<p>☰</p> <p>下 先生と遺書 三八</p> <p>私がかへはいると間もなく車の音が聞こえました。今のようにゴム輪のない時分でしたから、がらがらいういやな響き</p> <p>☛</p> <p>[下 先生と遺書 三八]</p>	<p>☰</p> <p>下 先生と遺書 三九</p> <p>Kの生返事は翌日になっても、その翌日になっても、彼の態度によく現れていました。彼は自分から進んで例の問題に</p> <p>☛</p> <p>[下 先生と遺書 三九]</p>	<p>☰</p> <p>夏目漱石「吾輩は猫である」(一)</p> <p>吾輩は猫である 夏目漱石</p> <p>一</p> <p>吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生まれたかとうと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニ</p> <p>☛</p> <p>[夏目漱石「吾輩は猫である」(一)]</p>
		<p>☰</p> <p>夏目漱石「文鳥」</p> <p>文鳥</p> <p>十月早稲田に移る。伽藍のような書斎にただ一人、片づけた顔を頬杖で支えていると、三重吉が来て、鳥をお飼いなさいと言う。飼ってもいいと答えた。しか</p> <p>☛</p> <p>[夏目漱石「文鳥」]</p>	<p>☰</p> <p>夏目漱石「硝子戸の中」(一～五)</p> <p>硝子戸の中 夏目漱石</p> <p>一</p> <p>硝子戸の中から外を見渡すと、霜除けをした芭蕉だの、赤い実のなつた梅もどきの枝だの、無遠慮に直立した電信柱だ</p> <p>☛</p> <p>[夏目漱石「硝子戸の中」(一～五)]</p>	
11				

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
12	<p>永訣の朝</p> <p>音声資料</p> <p>朗読音声 永訣の朝</p> <p>補助資料</p> <p>宮澤賢治「松の針」 永訣の朝 「言語活動1」の補助資料。</p> <p>宮澤賢治「無声慟哭」 永訣の朝 「言語活動1」の補助資料。</p> <p>宮澤賢治「オツベルと象」 永訣の朝 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>宮澤賢治「なめとこ山の熊」 永訣の朝 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>宮澤賢治「雨ニモマケズ」 永訣の朝 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>宮澤賢治「松の針」</p> <p>松の針</p> <p>さつきのみぞれをとつてきた あのきれいな松のえだだよ おお おまへはまるでとびつくやうに そのみどりの葉にあつい頬をあてる</p> <p>宮澤賢治</p> <p>[宮澤賢治「松の針」]</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>宮澤賢治「無声慟哭」</p> <p>無声慟哭</p> <p>こんなにみんなにみまもられながら おまへはまだここでくるしまなければならぬ ああ巨きな信のちからからことさらには</p> <p>宮澤賢治</p> <p>[宮澤賢治「無声慟哭」]</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>宮澤賢治「オツベルと象」</p> <p>オツベルと象</p> <p>オツベルときたら大したもんだ。稲扱 器械の六台も据えつけて、のんのんの のんののんと、大そろしない音をたて てやっている。</p> <p>宮澤賢治</p> <p>[宮澤賢治「オツベルと象」]</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;"> <p>宮澤賢治「なめとこ山の熊」</p> <p>なめとこ山の熊</p> <p>なめとこ山の熊のことならおもしろい。 なめとこ山は大きな山だ。淵沢川はなめ とこ山から出てくる。なめとこ山は一年 のうちたいの日はつめたき霧か雲か</p> <p>宮澤賢治</p> <p>[宮澤賢治「なめとこ山の熊」]</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>宮澤賢治「雨ニモマケズ」</p> <p>雨ニモマケズ</p> <p>雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ</p> <p>宮澤賢治</p> <p>[宮澤賢治「雨ニモマケズ」]</p> </div> </div>
13	<p>表札</p> <p>ウェブリンク</p> <p>NHKアーカイブス 石垣りん テレビ番組出演映像。</p>	
14	<p>短歌</p> <p>映像資料</p> <p>短歌 9もういいかい〜</p> <p>ひばり 短歌 12 若草は〜</p> <p>鶺鴒 短歌 12 若草は〜</p> <p>ウェブリンク</p> <p>NHK for School 10min. ボックス 短歌 「短歌」の歴史と特徴を解説し た動画。</p> <p>国立国会図書館デジタルコレクシ ョン 自作短歌朗読 斎藤茂吉 斎藤茂吉による自作短歌朗読音声。</p> <p>国立国会図書館デジタルコレクシ ョン 自作短歌朗読 萩原望江 萩原望江による自作短歌朗読音声。</p> <p>NHKアーカイブス 斎藤史 テレビ番組出演映像。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>[鶺鴒]</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>[ひばり]</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>[鶺鴒]</p> </div>

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
15		 <p>[螢 (CG)]</p> <p>[鶴 (タンチョウ)]</p>
16		 <p>[重要語テスト 物語のおわり]</p>
17		 <p>[角田光代インタビュー]</p>

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
18		<p>風博士</p> <p>諸君は、東京市某町某番地なる風博士の邸宅をご存じであろうか？ ご存じない。それは大変残念である。そして諸君は偉大なる風博士をご存じであろうか？</p> <p>風博士 坂口安吾</p> <p>墮落論 坂口安吾</p> <p>半年のうちに世相は変わった。醜の御楯といでたつ我は。大君のへにこそ死なめかへりみはせじ。若者達は花と散ったが、同じ彼らが生き残って闇屋となる。</p> <p>白痴 坂口安吾</p> <p>その家には人間と豚と犬と鶏と家鴨が住んでいたが、まったく、住む建物も各々の食物もほとんど変わっていやしない。物置のようなひん曲った建物があって、階下</p> <p>[重要語テスト 文学のふるさと] [坂口安吾『風博士』] [坂口安吾『墮落論』] [坂口安吾『白痴』]</p>
19		<p>小説の読み方 重要語 1/12</p> <p>次の言葉の意味として最も適切なものを選びなさい。</p> <p>【拡大】</p> <p>① 数量が非常に多岐にわたる ② 数量が不明なさま ③ 数量が増え続けるさま ④ 数量が一定しないさま</p> <p>解答</p> <p>[平野啓一郎インタビュー] [重要語テスト 小説の読み方]</p>

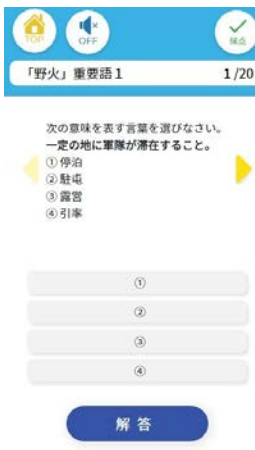
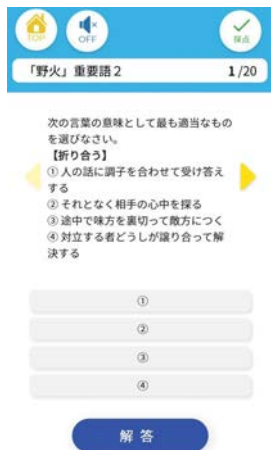
番号	一次遷移画面	二次遷移画面	
20			
21			
22			

[重要語テスト 1 ひよこの眼]

[重要語テスト 2 ひよこの眼]

[重要語テスト はね]

[重要語テスト 赤い蔭]

番号	一次遷移画面	二次遷移画面		
23		 <p>[重要語テスト1 野火]</p>	 <p>[重要語テスト2 野火]</p>	 <p>[重要語テスト3 野火]</p>
24		 <p>[重要語テスト1 檸檬]</p>	 <p>[重要語テスト2 檸檬]</p>	<p>[梶井基次郎「桜の樹の下には」]</p> <p>[梶井基次郎「闇の絵巻」]</p> <p>[梶井基次郎「交尾」]</p>

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
25	 <p>笑われた子</p> <p>音声資料</p> <p>朗読音声 笑われた子</p> <p>テストアプリ</p> <p>重要語テスト 笑われた子</p> <p>補助資料</p> <p>横光利一『蠅』 笑われた子 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>横光利一『頭ならびに腹』 笑われた子 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p> <p>横光利一『春は馬車に乗って』 笑われた子 「作者解説」(作品紹介) 掲載作品の本文。</p>	 <p>「笑われた子」重要語 1/3</p> <p>次の言葉の意味として最も適当なものを選びなさい。</p> <p>【蠅に】</p> <p>① さらに ② 特に ③ 一挙に ④ ときどき</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> <p>[重要語テスト 笑われた子]</p>  <p>横光利一『蠅』</p> <p>蠅</p> <p>真夏の宿場は空虚であった。ただ眼の大きな一匹の蠅だけは、薄暗い廬の隅の蜘蛛の巣にひっかかると、後肢で網を跳</p> <p>一</p> <p>横光利一</p> <p>[横光利一『蠅』]</p>  <p>横光利一『頭ならびに腹』</p> <p>頭ならびに腹</p> <p>真昼である。特別急行列車は満員のまま全速力で駆けていた。沿線の小駅は石のように黙殺された。</p> <p>とにかく、こういう現象の中で、その</p> <p>横光利一</p> <p>[横光利一『頭ならびに腹』]</p>  <p>横光利一『春は馬車に乗って』</p> <p>春は馬車に乗って</p> <p>海浜の松が木枯らしに鳴り始めた。庭の片隅で一叢の小さなダリヤが縮んでいた。</p> <p>横光利一</p> <p>彼は妻の寝ている寝台のそばから、泉</p> <p>[横光利一『春は馬車に乗って』]</p>

<p>番号 26</p>	<p>一次遷移画面</p>	<p>二次遷移画面</p> <div data-bbox="592 147 898 322"> <p>[鶯 (シラサギ)]</p> </div> <div data-bbox="592 360 858 450"> <p>「舞姫」重要語 1 1/23</p> <p>次の言葉の意味として最も適当なものを選びなさい。</p> <p>【洋行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 欧米に留学すること ② 各地をさすらい歩くこと ③ 船で海を渡ること ④ 西洋趣味にかぶれること <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> </div> <div data-bbox="882 360 1149 450"> <p>「舞姫」重要語 2 1/23</p> <p>次の言葉の意味として最も適当なものを選びなさい。</p> <p>【暫時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 長い間 ② 少しの間 ③ 瞬く間 ④ その当時 <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> </div> <div data-bbox="1169 360 1436 450"> <p>「舞姫」重要語 3 1/23</p> <p>次の言葉の意味として最も適当なものを選びなさい。</p> <p>【汚名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 悪い評判 ② 無実の罪 ③ 低い官職 ④ 危害や損害 <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> </div> <div data-bbox="592 864 858 954"> <p>「舞姫」重要語 4 1/22</p> <p>次の意味を表す言葉を選びなさい。</p> <p>機会があるたびにいつも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ことによると ② 折に触れて ③ 間髪を入れず ④ 体よく <p>① ② ③ ④</p> <p>解答</p> </div> <div data-bbox="882 904 1149 1391"> <p>森鷗外「普請中」</p> <p>普請中</p> <p>渡辺参事官は歌舞伎座の前で電車を降りた。</p> <p>雨あがりの道の、ところどころに残っている水たまりを避けて、木挽町の河岸</p> <p>森鷗外</p> </div> <div data-bbox="1169 904 1436 1391"> <p>森鷗外「うたかたの記」</p> <p>うたかたの記</p> <p>幾頭の獅子の挽ける車の上に、勢ひよく突っ立ちたる、女神パワリアの像は、先王ルウドキヒ第一世がこの凱旋門に据ゑさせしなりといふ。その下よりルウド</p> <p>森鷗外</p> </div> <div data-bbox="592 1453 858 1939"> <p>森鷗外「最後の一句」</p> <p>最後の一句</p> <p>元文三年十一月二十三日の事である。大阪で、船乗り業桂屋太郎兵衛というものを、木津川口で三日間さらした上、斬罪に処すると、高札に書いて立てられた</p> <p>森鷗外</p> </div> <div data-bbox="882 1453 1149 1939"> <p>森鷗外「高瀬舟」</p> <p>高瀬舟</p> <p>高瀬舟は京都の高瀬川を上下する小舟である。徳川時代に京都の罪人が遠島を申し渡されると、本人の親類が牢屋敷へ呼び出されて、そこで暇乞いをする事</p> <p>森鷗外</p> </div>
------------------	---------------	--

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
27		 <p>[重要語テスト 掟の門前]</p>
28		 <p>[重要語テスト 藤野先生]</p>

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
29		<p>[重要語テスト1 父帰る]</p> <p>[重要語テスト2 父帰る]</p> <p>[菊池寛『身投げ救助業』]</p> <p>[菊池寛『勝負事』]</p> <p>[菊池寛『形』]</p>
30		

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
31		 <p>[重要語テスト 演技する「私」]</p>
32		 <p>[重要語テスト 読者にできる仕事]</p>

番号	一次遷移画面	二次遷移画面
33	<p>近現代文学史年表</p> <p>テストアプリ</p> <ul style="list-style-type: none">近現代文学史クイズ1 レベル1近現代文学史クイズ2 レベル2近現代文学史クイズ3 レベル3近現代文学史クイズ4 レベル4 <p>ウェブラリンク</p> <ul style="list-style-type: none">NHK for School10min. ボックス 明治文学史 「明治文学史」(言文一致)の解説動画。	<p>二次遷移画面</p> <p>近現代文学史クイズ1 1/15</p> <p>私が誰でしょう?</p> <p>解答欄</p> <p>解答</p> <p>[近現代文学史クイズ 1]</p> <p>近現代文学史クイズ2 1/15</p> <p>私が書いた作品はどれでしょう?</p> <p>① 『河童』</p> <p>② 『明暗』</p> <p>③ 『人間失格』</p> <p>④ 『和解』</p> <p>解答</p> <p>[近現代文学史クイズ 2]</p> <p>近現代文学史クイズ3 1/15</p> <p>私の自伝にきたことのないのは誰でしょう?</p> <p>① 寺田寅彦</p> <p>② 内田百閒</p> <p>③ 太宰治</p> <p>④ 芥川龍之介</p> <p>解答</p> <p>[近現代文学史クイズ 3]</p> <p>近現代文学史クイズ4 1/15</p> <p>私と没後思想争を繰り広げたのは誰でしょう?</p> <p>① 夏目漱石</p> <p>② 森鷗外</p> <p>③ 谷崎潤一郎</p> <p>④ 二葉亭四迷</p> <p>解答</p> <p>[近現代文学史クイズ 4]</p>